

令和4年度障害者総合福祉推進事業

課題番号2 『難聴児の家族等や支援に携わる関係者が必要とする基本的な情

報の整理・一覧化に関する調査研究』

事業報告書

令和5年3月

PwC コンサルティング合同会社

概要

【事業目的】

難聴児¹の家族等が知るべき情報をわかりやすく整理して広く普及するため、既存の情報提供資料を調査し、下記2つを達成するために事業を推進した。

- ✓ 難聴児本人や家族等のニーズに即した支援等を受けられるように、家族や支援者等に対する情報を整理し、一覧化
- ✓ 行政機関等が必要な情報提供ができるような参考資料を作成

【成果物】

本事業では、成果物として、以下4点を作成した。

- ✓ 収集資料一覧
- ✓ 情報提供資料（本編）
- ✓ 情報提供資料（概要版）
- ✓ 資料活用の手引き

【作成方法】

1. 必要な情報の検討：難聴や難聴児支援に関して、家族等がどのタイミングでどのような情報が必要かを検討した
2. 情報収集：難聴や難聴児支援に関して家族等に提供されている既存の情報を収集し、一覧化した
3. 情報整理：収集資料の内容を整理した
4. 資料化：収集資料にもとづき、参考資料（情報提供資料）を作成した
5. 内容確認：委員及び難聴児の保護者に資料内容の確認を依頼し、適宜修正した
6. 活用方法の検討：資料の効果的な活用方法を検討し、とりまとめた

【調査結果まとめ】

調査の過程で以下の点が推測された。

- 難聴児の家族等へ提供される情報量に関して：家族等が難聴に関して獲得できる情報量や情報の網羅性が、現状で十分でない可能性があり、家族等が育児・療育について不安感・課題を抱えている状況、もしくは十分な支援を受けられていない状況が推測される。
- 難聴児の家族等へ提供される情報の質に関して：家族等が迫られる選択や、難

¹ 本報告書では障害に至らない難聴の子どもや、ろう児を含む聴覚障害児を総称して、難聴児と表記する。

聴児の育児に関して、現状で情報が十分でない可能性があり、不十分な情報に基づいて意思決定が行われている状況が推測される。

- 難聴児の家族等の情報へのアクセスについて：難聴や難聴児支援に関する情報が、一部の機関やコミュニティで閉じている、地域差がある、支援員個人が提供している等の状況があるため、家族等が難聴に関して獲得できる情報が必ずしも均一ではない可能性があり、難聴児とその家族等が適切な支援を受けられていない、もしくは情報収集等に関して家族等の負担が大きい状況が推測される。
- その他、難聴児支援全般に関して：支援員の知識やノウハウが共有知となる活動が乏しい現状や、新生児聴覚検査に要する期間の長さ、情報提供の手法の難しさ等、難聴児とその家族等を取り巻く環境についての課題が指摘され、それによる家族等の心理的負担が生じている状況が推測される。

目次

1. 事業概要	5
(1) 事業の実施背景及び目的	5
(2) 実施概要	10
(3) 事業検討委員会	11
2. 成果物の作成	13
(1) 本事業の成果物とその作成目的	13
(2) 作成手法	13
(3) 資料の活用方法	21
3. 調査結果まとめ	24
(1) 本事業にて明らかになったこと	24
(2) 今後に向けて（課題・提言）	28
付録	31
付録1 情報提供資料（本編）	32
付録2 情報提供資料（概要版）	32
付録3 資料活用の手引き	32
付録4 収集資料一覧	33
付録5 マッピング作業の結果	55

1. 事業概要

本章では、本事業の背景と目的、目的を達成するための方法について記載する。なお、本報告書では障害に至らない難聴の子ども、ろう児を含む聴覚障害児を総称して難聴児とする。

(1) 事業の実施背景及び目的

①事業の背景

先天性難聴児は 1,000 人に 1～2 人程度とされており、早期に発見し、適切な支援につながる事が重要である。特に新生児聴覚検査でリファア（要再検）となり、自分の子どもが難聴児であるとの診断を受けた家族等は、ショック等もあり十分な情報を得られないことが多くあり、体系的な情報を家族等に対し示すなど寄り添った支援が重要な要素であるといわれている。特に難聴児の家族等が難聴者でない場合には、難聴・ろうに関する基礎的な情報を持たない可能性もあり、今後の子育てに関して不安を抱えることもあるため、家族等への相談支援や、コーディネーターの位置付けの支援者の存在も重要である。

PwC コンサルティング合同会社が実施した令和 3 年度障害者総合福祉推進事業²（以下、「令和 3 年度事業」という）では、子どもの難聴が疑われた場合、子どもや家族等が難聴の発見から支援につながるまでにたどる大まかなプロセスを図 1 のとおり整理した。先天性難聴も含め、子どもの年齢を問わず、①難聴である可能性の発見、②難聴の確定、③子どもへの支援というプロセスをたどると考えられる。家族等はこれらの①から③のプロセスを進み、並行して④相談・情報収集を行うと考えられる。このプロセスの中で家族等がその時々に必要な情報を収集し、多機関が相互に有する専門的知見について共有することで、医療（保健）・福祉（療育）・教育分野が連携した支援につながると考えられる。

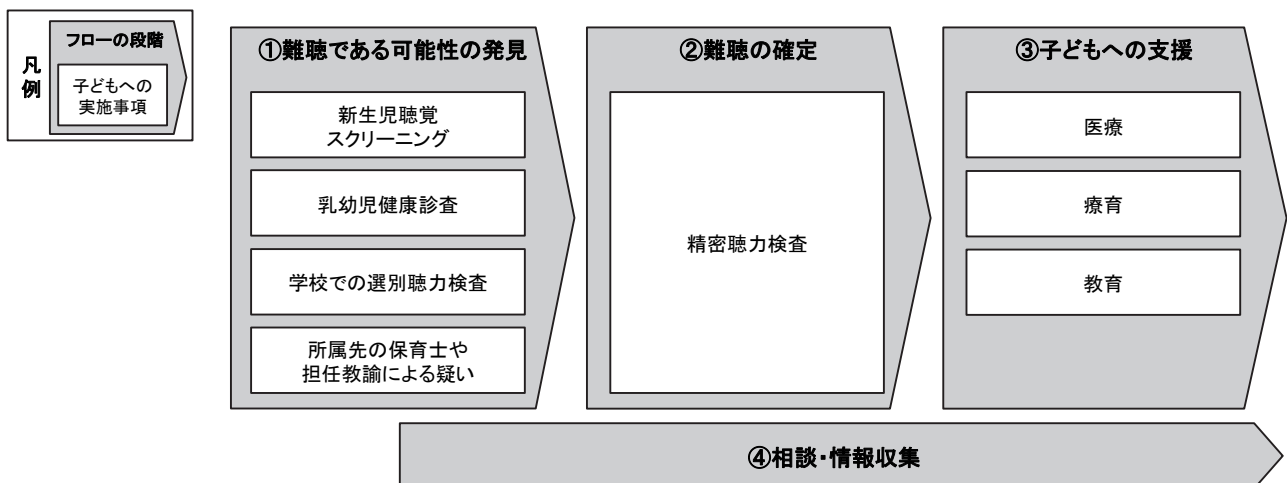
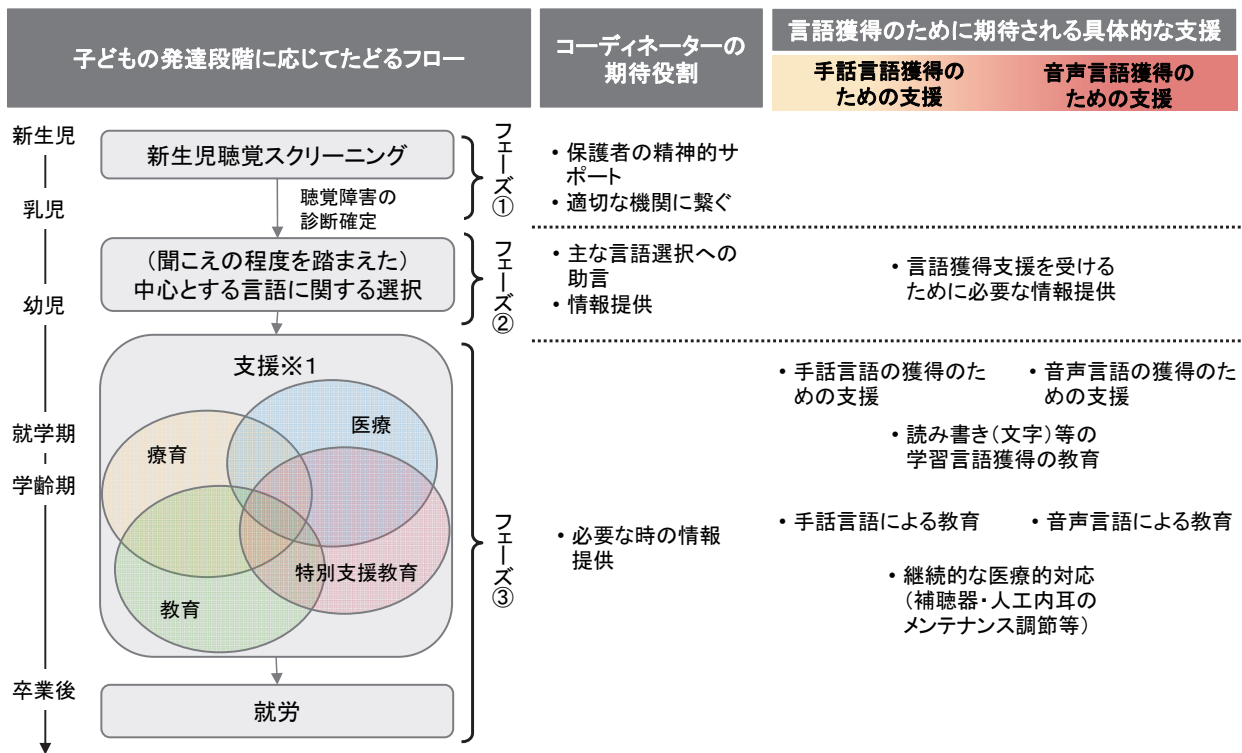


図 1 難聴の発見から支援につながるまでのプロセス

² PwC コンサルティング合同会社令和 3 年度障害者総合福祉推進事業『難聴児の療育や難聴児・者及びその家族等への支援等にあって必要とされる情報の発信及び専門人材の養成に関する調査研究』事業報告書を参照

以上の支援につながるフローを踏まえ、令和3年度事業から、子どもの発達段階に応じた支援につながるまでのフローを整理すると図2のようになる。



※1療育、医療、教育、特別支援教育をどのような組み合わせや割合で受けるかは子どもの状態によって大きく異なる

図2 子どもの発達段階に応じた支援につながるまでのフロー

図2は、子どもの発達段階に応じてたどるフローに対して、コーディネーターに期待される役割と、言語獲得のために期待される具体的な支援の2つの視点で整理したものである。なお、今年度の事業の検討を進める中で、委員より言語獲得のための支援以外の要素も同様に整理すべきだという指摘があったことを補足する。

また、難聴児・ろう児が発達段階に応じてたどるフローは、その状況の性質から大きく3つのフェーズに分けた。

フェーズ①：聴覚障害(の疑い)への気づきや確定が生じる段階である。多くの場合、新生児聴覚スクリーニングでリファアとなり難聴・ろうに気づくことが多い。

フェーズ②：聞こえの程度などの状況を踏まえ、中心とする言語の選択をする段階である。なお、フェーズ②で行う言語の選択は、あくまで「中心とする」言語の選択であり、手話言語や音声言語のいずれかを選択したとしても、もう一方の言語を学ぶことが十分に考え得る。さらに、中心となる言語が後で変更となることも考え得る。

フェーズ③：具体的な支援を通じて難聴児・ろう児が成長していく段階である。フェーズ③で行われる支援には、療育、医療、教育、特別支援教育といった様々な支援が考えられ、それらの支援をどのような組み合わせで、どのくらいの割合で受けることが望ましいかは、子どもの状態に応じて判断することが必要である。

令和3年度調査を通じて、これらのフェーズごとに療育、医療、教育、特別支援教育といった様々な支援を受けるための課題を表1のように整理した。

表1 支援を受けるための課題

紐づくフェーズ	課題	
フェーズ①	1	新生児聴覚スクリーニングで聴覚障害が発見されない場合、その後はなかなか発見されず、支援が遅れてしまう
	2	難聴確定後、家族等が何をしたらいいかわからない(プッシュ型の情報提供の不足)
	3	難聴確定直後、家族等への心理的配慮・精神的サポートがない
フェーズ②	4	初期段階の支援に関して得られる情報が偏っている
フェーズ③	5	手話を学ぶ場所がない・手話を教える専門人材がない
	6	ワーキングペアレンツを想定したサポートが少ない(送迎や学童等)
	7	軽度難聴の場合、補聴器の補助や支援の必要性の認識が特に不十分で、言語が未発達に陥りやすい

これらの課題を解決するためには、家族等に寄り添いながら適切な情報提供を行い、子ども本人や家族のニーズに即した支援につなげることが重要であると考えられる。

しかしながら、地域によっては新生児聴覚スクリーニングでリファアとなったとしても、その後の支援につながらないといったことや、他の選択肢(例えば、言語選択等の場面において)が提示されないなどの問題があるとの指摘もあり、意思決定のための十分な情報提供がなされていないとの指摘もある。

したがって、難聴児の家族等や支援に携わる関係者が必要とする基本的な情報について整理し、各地域で共通していると考えられる基本的な情報については、一覧化のうえ、各地域で引用し活用できる汎用性を持ったフォーマットを示すことが重要であるとする。

令和3年度事業を通じて、各種ヒアリング結果から、家族等が必要としている情報が表2のように一覧表に整理された。「表2 難聴児とその家族等に必要情報」は行政機関等の職員が難聴児・ろう児の家族等から相談を受けることを想定し、その際に十分な情報提供を行うための参考資料として活用されることを期待して、作成した。情報一覧は、子どもの発達段階と、その段階で生じることの多いライフイベントの2つを軸としたうえで、家族等にとって特に必要な情報と、子ども自身にとって特に必要な情報としている。ただし、表2にある情報項目を全国の自治体で参考するにあたっては、地域による違いや実際の情報の有無について、もう一段階精緻に内容を整理し、全国の自治体が活用できる内容に整理しなければならないと考えられる。

表 2 難聴児とその家族等に必要な情報

子どもの発達段階	ライフイベント	家族等に特に必要な情報	子ども自身に特に必要な情報
新生児期	難聴の発見	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児スクリーニングの結果の見方 ・聴覚障害に関連する基本的な知識 ・子どもとのコミュニケーションの取り方に関する助言 ・(その自治体の) 難聴確定直後の相談先 ・(その自治体の) 子どもが支援を受けられる機関の一覧 ・(その自治体の) 補聴器補助などの経済的な支援に関する説明 	—
乳児～幼児初期	療育の開始 保育所への入園	<ul style="list-style-type: none"> ・非認知機能(こころの発達)に関する基本的な知識 ・言語発達に関する基本的な知識(特にコミュニケーション言語獲得に向けて) ・進学先の選択のための検討観点 ・聴覚障害のある子どもの育成等の事例 	—
幼児期	ろう学校幼稚部や幼稚園への入園	<ul style="list-style-type: none"> ・(その自治体で) 就学後に学修支援(ノートテイク、通訳者等)として受けられるサポートの一覧 ・言語発達の基本的な知識(特に学習言語の獲得に向けて) 	—
就学期	小学校等に入学	<ul style="list-style-type: none"> ・進学先で受けられるサポートの考え方の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の障害を受容し、理解するための説明 ・周りに自身の聞こえについて説明するための資料
学齢期①	本格的な学習の開始	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校以降の進学先の選択のための検討観点 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報保障の概念に関する説明 ・自身の権利について自己主張することの意義に関する説明
学齢期②(思春期)	中学校入学卒業後の進路を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害のある人のキャリア事例 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害のある人のキャリア事例
卒業後	将来の姿の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に関する基本知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に関する基本知識の説明 ・進学する場合には、卒業後に(その自治体で)学修支援(ノートテイク、通訳者等)として受けられるサポートの一覧

②目的

以上のような背景や知見を踏まえると、難聴児やその家族のニーズに沿った支援を行うために、難聴児の家族等が知るべき情報をわかりやすく整理して広く普及することが重要であると考えられる。そのため、本事業は次の目的の下、実施する。

- ✓ 難聴児本人や家族等のニーズに即した支援等を受けられるように、家族や支援者等に対する情報を整理し、一覧化
- ✓ 行政機関等が必要な情報提供ができるような参考資料を作成

(2) 実施概要

本事業では前途の目的「情報の整理」「参考資料の作成」を達成するために、下記の成果物を作成した。作成の進め方は、2章に記載した。また、事業経過については下記の通り。

①成果物

- ✓ 収集資料一覧
- ✓ 情報提供資料（本編）
- ✓ 情報提供資料（概要版）
- ✓ 資料活用の手引き

②事業経過

本事業は令和4年5月27日に事業の内示を受け、令和5年3月31日まで、表3に示した通りの経過で事業を実施した。

表3 事業経過

時期	事業実施状況
令和4年 6月	①項目整理 (調査設計など)
7月	②情報収集 オンライン調査
8月	★第1回 委員会
9月	★第2回 委員会
10月	②情報収集 直接調査
11月	③情報整理
12月	④資料化
令和5年 1月	④資料化
2月	★第4回 委員会
3月	⑤委員確認・ 保護者確認

(3) 事業検討委員会

難聴及び、難聴児の家族支援について知見のある有識者による検討委員会を組成して議論を進めた。検討委員会は全4回実施した。

①検討委員

検討委員は次のとおりである。なお、座長には福島氏が就任した。

表4 検討委員会委員

氏名 (敬称略 五十音順)	所属
荒川 早月	全国聾学校長会 会長 東京都立大塚ろう学校 統括校長
北 義子	武蔵野大学 人間科学部専攻科 言語聴覚士養成課程 准教授
佐藤 直子	秋田県健康福祉部 保健・疾病対策課 調整・自殺対策・母子保健班 主幹
武居 渡	金沢大学 人間社会研究域 学校教育系 教授
福島 邦博	医療法人さくら会 早島クリニック耳鼻咽喉科皮膚科 院長
守本 倫子	国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科 医師
山根 昭治	一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事

検討委員会オブザーバーとして次の者が参画した。

表5 検討委員会オブザーバー

氏名 (敬称略)	所属
兵藤 毅	一般財団法人 全日本ろうあ連盟
森 恩	厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 企画課 課長補佐
前田 祐子	厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 企画課 主査
吉本 勇輝	厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 企画課 企画法令係
堀之内 恵司	文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官
嶋田孝次	文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 課長補佐
若松沙也加	文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 企画調査係
山田 知佳子	文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 指導係長

本事業を実施した事務局は下記の通りである。

表6 事務局

氏名	所属
東海林 崇	PwC コンサルティング合同会社 ディレクター
大瀬 千紗	PwC コンサルティング合同会社 マネージャー
馬淵 萌咲	PwC コンサルティング合同会社 アソシエイト

②検討委員会開催状況

全4回の検討委員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、会議は原則オンライン開催とした。

表 7 委員会議題

開催日	主な議題
第1回 令和4年8月16日（火）	<ul style="list-style-type: none">調査設計（調査手法・調査先）の方針確認・検討情報整理の手法検討
第2回 令和4年9月21日（水）	<ul style="list-style-type: none">追加調査先についての意見交換不足情報の担保の手法の検討情報提供資料の作成方針の検討報告書骨子の検討
第3回 令和4年12月1日（木）	<ul style="list-style-type: none">情報提供資料の構成の確認・合意情報提供資料の記載内容の検討
第4回 令和5年2月7日（火）	<ul style="list-style-type: none">情報提供資料の記載内容の確認・合意情報提供資料の活用方針についての検討報告書の記載内容の検討

2. 成果物の作成

本章では、成果物の作成について詳細を記載する。

(1) 本事業の成果物とその作成目的

冒頭でも記載した通り、難聴児の家族等に対して、必要な情報を行政機関等が提供することが肝要である。よって、本事業では、難聴児の家族等にとって必要な情報を収集・整理した上で、行政機関等がそれらの情報提供を円滑に実施するために活用できる情報提供資料を作成した。

まず、情報収集の結果は、収集資料一覧としてとりまとめた。本一覧は、既存情報としてどのような資料があるのかを可視化したものとして、自治体や難聴児支援機関・施設・団体等で広く参照され、今後の情報提供が効果的・効率的に実施されることを期待する。

次に、情報提供資料は、家族等にとって必要な情報を網羅的に記載した本編の他、昨今の家族等がウェブ上で情報収集を行うことを背景として、より情報の接点を増やすためにウェブでの公開を前提とした概要版の2種類を作成した。また、情報提供資料は、難聴についての基礎知識があまりない家族等にとって、「手に取りやすく」「理解しやすい」資料となるように作成をした。

最後に、情報提供資料が行政機関等で広く効果的に活用されるために、情報提供資料の目的・効果的な活用方法・使用時のルールなどをとりまとめた自治体向けに資料活用の手引きを作成した。

(2) 作成手法

情報提供資料は、項目整理、情報収集、情報整理、資料化の順番で作成を進めた。作成の流れの詳細は、以下に記載する。

①項目整理

難聴児の家族等に必要な情報の種類と内容を検討した。

検討に際しては、令和3年度事業において検討を行った難聴児とその家族等に必要な情報の一覧を参考とした。詳細は表8の通り。

表 8 難聴児とその家族等に必要な情報

子どもの発達段階	ライフイベント	家族等に特に必要な情報	子ども自身に特に必要な情報
新生児期	難聴の発見	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児聴覚検査の結果の見方 ・聴覚障害に関連する基本的な知識 ・子どもとのコミュニケーションの取り方に関する助言 ・(その自治体の) 難聴確定直後の相談先 ・(その自治体の) 子どもが支援を受けられる機関の一覧 ・(その自治体の) 補聴器補助などの経済的な支援に関する説明 	—
乳児～幼児初期	療育の開始 保育所への入園	<ul style="list-style-type: none"> ・非認知機能（こころの発達）に関する基本的な知識 ・言語発達に関する基本的な知識（特にコミュニケーション言語獲得に向けて） ・進学先の選択のための検討観点 ・聴覚障害のある子どもの育成等の事例 	—
幼児期	ろう学校幼稚園部や幼稚園への入園	<ul style="list-style-type: none"> ・(その自治体で) 就学後に学修支援（ノートテイク、通訳者等）として受けられるサポートの一覧 ・言語発達の基本的な知識（特に学習言語の獲得に向けて） 	—
就学期	小学校等に入学	<ul style="list-style-type: none"> ・進学先で受けられるサポートの考え方の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の障害を受容し、理解するための説明 ・周りに自身の聞こえについて説明するための資料
学齢期①	本格的な学習の開始	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校以降の進学先の選択のための検討観点 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報保障の概念に関する説明 ・自身の権利について自己主張することの意義に関する説明
学齢期②（思春期）	中学校入学卒業後の進路を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害のある人のキャリア事例 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害のある人のキャリア事例
卒業後	将来の姿の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に関する基本知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に関する基本知識の説明 ・進学する場合には、卒業後に（その自治体で）学修支援（ノートテイク、通訳者等）として受けられるサポートの一覧

本事業では、家族等への情報提供が特に必要なタイミングとして、子どもが新生児期かつ新生児聴覚検査でリファ（要再検）となり、家族等が難聴についての基礎知識がなく、混乱をしている段階から、就学前の具体的な支援機関につながっていない可能性が高い時期までと定めた。従って、表8のうち、特に新生児期～幼児期後期までの家族等に特に必要な情報を中心として、情報提供を行う方針で検討した。

②情報収集

情報収集は下記の手法で実施した。

ア. オンライン調査

オンライン調査では、下記の機関・施設・団体が発行・公開している資料や情報があるか、ウェブ検索を利用し調査を行った。調査結果は、付録4「収集資料一覧」を参照。

- ・ 都道府県・政令市・中核市
- ・ 特別支援学校（聴覚障害）（いわゆる「ろう学校」。以下「聴覚障害特別支援学校」という。）
- ・ 児童発達支援センター（旧難聴幼児通園施設）
- ・ 補聴器・人工内耳の関連団体・企業
- ・ 当事者団体（手話など）
- ・ 研究者・機関の研究結果（科研費で作成された論文等）
- ・ 難聴児の保護者支援団体
- ・ 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会、日本臨床耳鼻咽喉科医会

イ. 直接調査

直接調査では、オンライン調査の対象とした機関・施設・団体の他、委員から推薦があった機関・施設・団体に対して、発行・公開している資料や情報があるか、直接調査を行った。具体的な調査先・手法については表9を参照。調査結果は、付録4「収集資料一覧」を参照。

表9 直接調査先・調査手法

調査先	調査手法
都道府県・政令市・中核市	<ul style="list-style-type: none">・ 担当部局に直接メールで情報提供を依頼し資料を収集・ 上記の手法で調査協力を頂けなかった自治体のうち、委員より推薦があった自治体に対しては、架電で情報提供を依頼し資料を収集
児童発達支援センターの中で旧難聴幼児通園施設である全国19施設	<ul style="list-style-type: none">・ 該当施設に架電にて情報提供を依頼し資料を収集
聴覚障害特別支援学校	<ul style="list-style-type: none">・ 全国聾学校長会 会長である委員より、全国の聴覚障害特別支援学校へ情報提供の声を頂き、当該委員を通じて資料を収集
その他（委員から推薦があった機関・施設・団体）	<ul style="list-style-type: none">・ 推薦を頂いた委員の仲介の下、情報提供を依頼し資料を収集

ウ. 収集資料の一覧化

収集した資料は一覧化した。詳細は、付録4「収集資料一覧」の通り掲載した。

③情報整理

②で収集した資料の内容を確認し、情報の整理を行った。詳細な手順を下記に記載する。

ア. 内容確認

②で収集した全資料の内容を確認した。

イ. 資料選定

ア. の結果、多くの資料で共通的に見られる内容・テーマがあることが明らかになったため、収集した資料のうち、内容が重複する場合はより情報量が多いもの、記載テーマが多岐に渡るものに絞り込む形で資料を選定した。

ウ. マッピング作業

選定した資料は、①で検討した「家族等に必要な情報」に関連する記載の有無を確認し、記載がある場合は、資料の目次単位でどのような記載があるかを整理した (=マッピング作業)。マッピング作業の結果については、付録5「マッピング作業の結果」を参照。

④資料化

③で行ったマッピング作業の結果を踏まえて、行政機関等が難聴児本人やその家族等にとって必要な情報を提供する際に活用できる、情報提供資料を作成した。詳細な手順を下記に記載する。

ア. 構成等の検討

令和3年度事業にて検討を行った「難聴児とその家族等に必要な情報（表8）」に基づき、情報提供資料の構成を検討した。なお、自治体毎に状況が異なる情報については、一般的な内容ではないため、資料末尾に掲載する資料の作成を各自治体に依頼する。それ以外の内容については、難聴の発見・確定フローを踏まえると、①新生児聴覚検査でリファーとなった直後、②精密検査で難聴が確定した後、の2つの段階があり、それぞれの段階で家族等の状況や必要な情報が異なることが予想されるため「難聴児とその家族等に必要な情報（表8）」でとりまとめた内容を①・②に振り分けた。加えて、②については、難聴確定後（想定としては、1歳前半まで）に直ちに知っておく必要があることと、難聴確定後からしばらく経過（1歳後半以降）してから必要になる情報とで線引きを行い、それぞれ振り分けた。

なお、各章・節・項のタイトルについて、家族向け資料であることを意識して、平易な表現を使用した。

詳細は表10の通り。

表10 情報提供資料の構成（章節）

章	節
1. お子さんが新生児スクリーニングでリファーとなった皆様へ	1. はじめに
	2. リファーって言われたけれど、どうしたらいいの？
2. お子さんのきこえについて、今知っておきたいこと	1. きこえに関して知っておきたいこと
	2. 子どもとのコミュニケーションのポイント
3. お子さんのきこえと将来を考える上で、知っておきたいこと	1. こころの発達って？
	2. ことばの発達って？
	3. さらに、ことばの発達を考えてみる
	4. 就学先はどうしたらいい？
	5. もっと知りたい！そんな時は？
さいごに	さいごに
自治体毎の支援情報の一覧等	-

イ. 収集資料の記載の確認

マッピング作業の結果を踏まえて、各章にどのような内容を記載すべきか、収集した資料の記載を参考として検討し、記載内容のテーマ毎に項目を整理した。記載内容が多岐に渡る場合は、複数資料に横断的に取り上げられている項目や、検討委員会で重要であると指摘があった内容を優先して検討した。項目は各章に紐づくように検討した。詳細は表 11 の通り。

表 11 情報提供資料の構成（項目立て）

章	節	項目	
1. お子さんが新生児聴覚検査でリファアとなった皆様へ	1. はじめに	-	
	2. リファアって言われたけれど、どうしたらいいの？	新生児聴覚検査って何？	
		リファアって何？	
		精密検査って何をやるの？	
		リファアと言われた時、何をすればいいの？	
	きこえとは		
2. お子さんのきこえについて、今知っておきたいこと	1 きこえに関して知っておきたいこと	きこえの程度と日常生活の音	
		きこえにくさのタイプと原因	
		音がきこえる仕組み	
		きこえの力を補う方法	
	2. 子どもとのコミュニケーションのポイント	お子さんと過ごすときに大切にしたいこと	
		きこえない・きこえにくい子を育てる上での具体的なポイント	
3. お子さんのきこえと将来を考える上で、知っておきたいこと	1. こころの発達って？	こころの発達とは	
		きこえない・きこえにくい子にとってのこころの発達	
		子どものこころの発達を促すために	
		きこえない・きこえにくい子の家族や社会との関わり方	
	2. ことばの発達って？	きこえない・きこえにくい子にとってのことば	
		きこえない・きこえにくい人にとってのコミュニケーション手段	
		乳幼児期におけることばの発達	
		きこえとことばの発達	
	3. さらに、ことばの発達を考えてみる	「考える力」を伸ばす「ことば」を育てるために	
		「考える力」を伸ばすことばを考える上で気を付けたいこと	
	4. 就学先はどうしたらいい？	就学決定までの流れ	
		きこえない・きこえにくい子にとっての就学の場	
		学校・学級の特徴	
		きこえない・きこえにくい子に必要なサポート	
		卒業後の進路	
	5. もっと知りたい！そんな時は？	-	
	さいごに	最後に	-

ウ. 執筆作業

検討した構成と、マッピング作業の結果を踏まえて、情報提供資料の執筆を行った。執筆の際は、家族向け資料であることを意識して、内容面で分かりやすく、かつ家族等に寄り添う姿勢を重視して進めた。

⑤委員・保護者確認

④で作成した情報提供資料の内容について、本事業の委員及び、保護者への確認を実施した。詳細は下記に記載する。

ア. 委員確認

本事業の委員に構成・原稿内容等の確認を依頼し、指摘があった場合は協議の上、内容を修正した。

イ. 保護者確認

本事業の委員より難聴児の保護者の推薦を頂いた上で、確認を頂く保護者を選定し、確認を依頼した。なお、保護者の選定の際は、子どもの難聴の程度、子どもの年齢、子どもの就学先、保護者の難聴の有無、在住地域が様々になるように選定した。

確認を依頼した保護者の情報は表 12 の通りである。

表 12 保護者確認を依頼した保護者一覧

保護者	子どもの難聴の程度	子どもの年齢	子どもの就学先	保護者の難聴の有無	在住地域
A 様	高度（2名）	第一子：19歳 第二子：14歳	第一子：聴覚障害特別支援学校 専攻科 第二子：聴覚障害特別支援学校 中学部	なし	北海道・東北
B 様	中等度	6歳	聴覚障害特別支援学校 幼稚部	父：一側性難聴	北海道・東北
C 様	重度	5歳	聴覚障害特別支援学校 幼稚部 及び、地域の保育所	なし	首都圏
D 様	軽度	4歳	地域の幼稚園と難聴児通園施設	なし	首都圏
E 様	重度 ⇒人工内耳装用	4歳	地域の幼稚園	なし	首都圏
F 様	重度 ⇒人工内耳装用	9～10歳	地域の学校（通級）	なし	首都圏

保護者確認では、保護者毎に事前にオンラインで事業概要及び本確認の趣旨を説明したうえで、本編・概要版ともに内容の確認を頂いた。その後、確認結果を聞き取るため、再度個別でオンラインでのヒアリングを実施した。保護者からの指摘のうち、主な内容は表 13 の通り。

（なお、保護者確認は情報提供資料ドラフト版に基づいて行い、いただいた指摘を踏まえ情報提供資料を修正する等対応を行った。）

表 13 保護者指摘の主な内容

保護者	主な指摘の内容
A 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者がまず初めに知りたいことは、難聴である子どもとの関わり方なのではないかと思った。自分の音声が子どもに届かない中で、どうやって関わったらいいのか、補聴器・人工内耳を装用しない期間をどう過ごすか、についての情報が充実していると良いと感じる。 ・ 子どもがきこえにくいと、保護者は無理にでも子どもに音をきづかせようとする可能性があるが、親子の関係の中ではあまり良くないと考えるため、上記を誘発するような記載は避けるべきである。 ・ 難聴体験は、難聴である子供の境遇を理解し、接し方を考えるヒントとして有効である。 ・ 就学先は、保護者の想いだけでなく、子どもの意思を尊重して決定することが最も大切である。
B 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補聴器や人工内耳等のきこえに関する情報はより多くあった方が良い。 ・ 子どもの発達（特に、非認知機能や言語発達等）に関する情報は、子どもの発達に合わせて、専門家から説明されると分かりやすいが、資料上で膨大な情報を提供されても十分に理解が出来ず、かえって保護者が不安になる可能性がある。
C 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料全体を通して誤解を生むような表現を避けることが重要であると感じた。例えば、「手話はことばの意味や概念が分かりやすく」と記載されているが、日本語も同様に分かりやすいので、手話については「難聴児にとっても」「視覚的に」「聴覚に頼らずとも」という補足があるとよいのではないかと。
D 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの軽度難聴については、保護者自身が子どものきこえにくさを忘れてしまうこともある。そのため、重度・高度難聴と比較して、保護者自身がより意識して子どもに接する必要がある。会話がきこえている（理解している）という保護者の誤った認識のまま会話が進み、実は理解できていなかったということも多いためである。軽度難聴について、楽観視すると、語彙獲得・概念形成に苦勞する可能性があるため、その点が明確であるように記載を頂きたい。
E 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自身の出産～新生児聴覚検査受検をした際を振り返ると、子どもの「聴覚障害」を受け入れること難しかった。そのため、保護者の心情に寄り添った文章が最初にあることが望ましい。 ・ 自身の経験として、新生児聴覚検査でリファアとなってから精密検査を受診するまでに3か月以上を要し、子どもの聴覚障害について情報が曖昧かつ相談先がなく非常に不安な時間を過ごした。 ・ 記載する情報には限りがあるため、「3-5 もっと知りたい！そんな時は？」に記載があるような、支援機関・施設・団体につながる情報が重要になるため、この節の記載内容はより精査頂き、充実させることが望ましい。
F 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報が網羅的かつ、発達段階ごとに記載がまとめられており、特に読みづらいと感じる点は無かった。

保護者確認で指摘があった点は、厚生労働省・委員と協議の上、内容を修正する等対応を行った。

また、④と⑤を経て、付録 1・2 の通り、情報提供資料（本編・概要版）（『お子さんのきこえのハンドブック きこえない・きこえにくいお子さんのために』）として作成した。

(3) 資料の活用方法

(2) で作成した情報提供資料（本編・概要版）の資料の活用方法を検討し、付録3の通り、自治体向けに資料活用の手引きとしてまとめた。詳細を以下に記載する。

①自治体による支援状況の把握・整理

情報提供資料に各地域における固有の情報を記載するため、下記の通り、地域の実態把握及び情報整理・支援の一覧化を自治体へ依頼する。

ア. 地域の実態把握

各自治体における難聴児の支援に関する資源や実態を把握することを推奨し、特に下記の項目について情報収集及び検討を依頼する。

(難聴児支援の種類・内容)

- ・ 保健、医療、福祉及び教育に関する行政機関の部局や医療機関・療育機関・教育機関等の関係機関とその支援内容・役割
- ・ 自治体で実施している、経済的支援・相談支援・公的支援機関
- ・ 保健師等のコーディネーターや、当事者・当事者支援団体の活動内容や支援状況
- ・ 公的機関・民間機関を含めた聴覚障害者情報提供施設等や難聴児支援を行っている障害児通所支援事業所、その他支援団体 等

(中核機関の確認)

- ・ 各自治体における保護者支援を行う中核的な機関

(新生児聴覚検査から精密検査までのフロー整理)

- ・ 新生児聴覚検査でリファアとなった後、再検査・精密検査までのフロー
- ・ 必要に応じて、診断後の家族等への伝達事項（支援の申請先、どこに連絡すればよいかなど）

イ. 情報整理・支援の一覧化

ア. にて把握した資源や実態を整理することを各自治体に依頼する。

- ・ 把握した各地域における支援の内容及び、支援機関・施設・団体・窓口等を一覧化
- ・ 一覧化の際、家族等が容易に各支援にアクセスできるよう、担当窓口、電話番号やメールアドレスやウェブページのQRコード等の連絡先を整理

②自治体による資料の最終化

情報提供資料（本編）に各自治体の固有の情報を掲載して家族等へ提供するために、下記の通り、資料の最終化を各自治体へ依頼する。

ア. 情報提供資料（本編）の追記・修正

情報提供資料（本編）の以下の部分については、各自治体へ追記を依頼する。

- ・ 表紙下部の入力欄に自治体名・ロゴ及び、連絡先の追記
- ・ 自治体で難聴児支援を実施している機関・施設・団体の名称及び連絡先・住所などの情

報の追記

また、各自治体の難聴児支援に関する資料等の追加を可能としており、特に下記の資料は添付を推奨する。

- ・ 新生児聴覚検査でリファーとなった後、精密検査に至るまでのフロー
- ・ 精密検査等を実施している聴覚専門の医療機関等の一覧
- ・ 補聴器等の購入補助に関する資料

イ. 情報提供資料（概要版）の追記・修正

情報提供資料（概要版）の以下の部分については、実態に応じて、各自治体において追記・修正を依頼する。

- ・ 「主な相談内容」を各自治体の実態に合わせて精査し、必要に応じて修正
- ・ 「主な相談内容」に対応する機関・施設・団体を確認し、枠の追加・内容の追記・削除
- ・ 各自治体における聴覚支援を実施している機関・施設・団体の名称及び連絡先・住所などの情報の追記

③機関・施設・団体による情報提供

②で最終化された情報提供資料は、各自治体より支援機関・施設・団体等を介して、紙媒体で家族等へ提供することを依頼する。提供の詳細については下記の通り。

ア. 医療機関・療育機関等への配布

各自治体で最終化された情報提供資料は、各自治体から、各地域における医療機関（特に、産科・小児科・耳鼻咽喉科を標榜する医療機関）、助産所、保健所及び市町村、療育機関、当事者団体等に配布し、それらの機関・施設・団体から直接家族等へ提供を行うように連携することを依頼する。

イ. 提供の際の留意点

情報提供資料は、主に支援施設のスタッフや市町村の担当課窓口、医療機関の医師や言語聴覚士、保健師等の支援者から家族等へ直接配付することが想定されるため、支援員が情報提供資料の意義を理解し、効果的に活用できるよう、下記の活用方針について各自治体から支援員へ周知することを依頼する。

（支援員による情報提供資料の活用方針）

- ・ 支援員が家族等と対面している場合は、情報提供資料を配布するだけでなく、支援員が家族等と一緒に読み進めることがよいと考えられる
- ・ 家族等へ更なる支援につながる重要性を強調し、実際に、適切な支援機関・施設・団体への架け橋となるように支援調整を実施することが望ましい
- ・ 中長期的に難聴児とその家族等へ支援を行い、難聴児の発達段階に合わせた適切な支援と情報提供を行うことがよいと考えられる

④自治体によるウェブ上での一般公開

②で最終化された情報提供資料は、ウェブ上で公開することを依頼する。提供の詳細については下記の通り。

ア. ウェブ上での公開

情報提供資料は（本編・概要版ともに）、各自治体がウェブ上で公開することが可能である。特に、家族等はスマートフォンなどの情報端末を通じて情報を集めることが想定されることから、情報提供資料（概要版）については各自治体や支援機関等のウェブ上での公開を依頼する。

3. 調査結果まとめ

本章では、難聴児の家族等への情報提供という観点で、本事業を推進する中で明らかになったことと、その事実を踏まえて、推測できること及び今後の課題・検討事項についての詳細を記載する。

(1) 本事業にて明らかになったこと

デスクトップ調査や追加調査を実施する過程での気づきや、保護者確認における保護者からの指摘、検討委員会での委員からの指摘を踏まえて、本事業において明らかになった点について、主に下記の4点において記載する。

1. 難聴児の家族等へ提供される情報の量に関して
難聴児の家族等にとって必要な情報が、網羅的かつ十分に存在しているのかについて、デスクトップ調査・追加調査の結果とマッピング作業の結果を踏まえて、確認・検証した
2. 難聴児の家族等へ提供される情報の質に関して
家族等が育児や意思決定を行うに足る内容・種類の情報が存在しているのかについて、デスクトップ調査・追加調査の結果を踏まえて、確認・検証した
3. 難聴児の家族等の情報へのアクセスについて
情報がどの家族等へも平等に提供されているか（容易にアクセスできるか、地域性や経済条件に左右されないか）について、デスクトップ調査・追加調査の結果と、家族等確認の結果を踏まえて確認・検証した
4. その他、難聴児支援全般に関して
本事業を進める中で明らかとなった、難聴児に対する支援の現状や課題についても確認・検証した

1. 難聴児の家族等へ提供される情報の量に関して

- 家族等が入手できる情報が少ない
 - ・ 特にウェブで入手可能な自治体や支援機関の情報提供資料が少ないほか、家族等が手に取りやすい書籍なども入手しづらい
 - ・ 自治体が資料等を作成して情報提供を行っている場合が少なく、また、地域の支援機関（聴覚障害特別支援学校や児童発達支援センター等）による情報提供の有無やその内容を自治体が把握していないケースもある
 - ・ 多くの家族等がインターネット上（ウェブ検索・SNS等）を活用して情報収集を行っていることが明らかになった
(上記を踏まえて推測される影響)
 - ・ 容易に取得できる自治体を含む行政機関や支援機関等からの情報が少なく、家族等が不安感を抱えながら育児をする状況につながる可能性がある
- 必要十分かつ網羅的な情報が提供されていない
 - ・ 特定のテーマ・分野に関する情報が少ない
 - ・ マッピング作業の結果を踏まえると、難聴に関する基本的な知識については、ある程度情報が提供されているが、新生児期から前言語期の情動や愛着・関係性等の非認知機能、言語発達、一側性難聴や軽度・中等度難聴に関する情報提供が少ない傾向があった
(上記を踏まえて推測される影響)
 - ・ 新生児期から前言語期の情動や愛着・関係性等の非認知機能や言語発達について家族等が十分に理解することが難しく、親子関係や教育面において課題が生じる可能性がある
 - ・ 一側性難聴や軽・中等度難聴について家族等や関係者の理解が醸成されず、子どもがきこえの程度に応じた適切な支援を受けられない可能性がある

2. 難聴児の家族等へ提供される情報の質に関して

- 家族等が迫られる選択について、幅広かつフラットな情報が少ない
 - ・ コミュニケーション手段（主に手話/音声・読話等）や、補聴方法（主に補聴器・人工内耳等）や、就学先等の療育・教育に関する選択に関して、自由で主体的な選択が可能となるような、幅広かつ中立な目線で記載されている情報提供資料が少ない
(上記を踏まえて推測される影響)
 - ・ コミュニケーション手段・補聴手段（主に補聴器/人工内耳等）・就学先等の選択に関わる意思決定が、十分かつ偏りのない情報に基づいて行われていない可能性がある
- 一般的な育児に関する考え方と掛け合わせた情報が少ない
 - ・ 難聴児の育児を考える上では、難聴に対する固有の情報やそれに基づく対応が必要になるものの、育児の基本的な考え方（愛着形成など）も重要であるにも

かかわらず、それらが同時に論じられているものが少ない
(上記を踏まえて推測される影響)

- ・ 難聴児（とくに新生児期）を持つ家族等が、難聴に対する知識とともに、育児の基本的な考え方を深めていくことが難しい現状が推測される

3. 難聴児の家族等の情報へのアクセスについて

- 難聴児の子育て経験談に関する事例や、当事者コミュニティの情報等、より具体的で、詳細な情報につながる糸口が少ない

- ・ 情報収集結果を踏まえると、難聴児の子育て経験談に関する事例等は聴覚障害特別支援学校等が中心となり作成しているが、個人情報も含まれるため、一般公開されることが少ない

- ・ 当事者団体の活動情報・活動報告等が一般公開されていることが少なく、特に外部からインターネットを活用して情報収集することが難しい

(上記を踏まえて推測される影響)

- ・ 当事者団体の活動報告や、各支援団体が行う支援についての詳細な情報が少なく、どこに行けば、どのような人と出会え、どのような情報が得られるのか、家族等が想像しづらい現状が推測される

- ・ 家族等が、当事者団体・支援団体との接触に向けた情報収集が困難であることが推測される

- 家族等が入手できる情報に地域差がある

- ・ 一般的に、乳幼児の家族等に対しては、聴覚障害特別支援学校が行う情報提供が主となる印象を受けるが、聴覚障害特別支援学校によって資料の情報提供の種類・濃淡・量が異なる。一方、子育ての最初や序盤に接触した機関のその後の子どもの人生への影響は大きいと考えられ、地域差があることは課題と考えられる。

- ・ 地域毎に当事者団体や支援機関の活動状況が異なる

(上記を踏まえて推測される影響)

- ・ 各地域により、難聴児とその家族等の状況が異なり、また近年インターネット上で当事者同士の情報共有が活発に行われていることを踏まえると、一覧性のある情報の中から家族等が自身の子どもの必要・適切な情報を選択することが困難になり、家族等が混乱する可能性がある

- ・ 難聴児とのその家族等が適切なタイミングで適切な支援を受けることが難しくなる可能性がある

- 家族等に提供される情報が、支援員個人の持つ情報や認識に依拠する場合がある

- ・ 各支援機関では、現場のスタッフが家族等との面談等で個別に家族等の困りごとをフォローするという実情があることを伺った

(上記を踏まえて推測される影響)

- ・ 家族等に提供される情報が支援員の持つ情報や認識によって提供されると、属

人的な情報提供となり、その家族等が出会った支援員により提供される情報が変わるなど、家族等に同質な情報提供が行われない可能性がある

- ・ 現場の支援員の負担が強まっている可能性がある
- 発達の段階に沿った情報が整理されていない
 - ・ 情報提供元等に確認したところ、家族等の不安や心情に寄り添うため、最低限の情報提供しかしていない場合があるという実情を伺った
(上記を踏まえて推測される影響)
 - ・ 家族等は子どもの成長段階に合わせて、その時々に必要な情報を自発的に収集する必要があるため、家族等の負担が強まっている可能性がある
 - ・ 家族等が必要な情報を適切なタイミングで入手することが出来ず、難聴児への適切な支援が出来ていない可能性がある

4. その他、難聴児支援全般に関して

- 知識やノウハウが体系的な共有知となっておらず、情報提供そのものが難しい
 - ・ 難聴児の支援機関員は日々難聴児に接し、指導・教育を行っており専門的なスキルを有しているが、それらが言語化され共有知となり、資料化されるケースが少ない
(上記を踏まえて推測される影響)
 - ・ 難聴児支援に関して、支援員の支援能力の底上げが難しくなる
 - ・ 現場の支援員の負担が強まっている可能性がある
- 新生児聴覚検査実施後～精密検査までに、推奨されている期間以上の時間を要する場合がある
 - ・ 新生児聴覚検査でリファーとなった後、精密検査までに数か月の期間を要する場合があります、また、その際のサポートが無かったため、心理的に疲弊した家族等からの意見が挙がった
(上記を踏まえて推測される影響)
 - ・ 新生児聴覚検査～精密検査までの期間が長引くことで、家族等の心理的負担が強まることが推測される
 - ・ 新生児聴覚検査を受診した医療機関・産院や精密検査を実施する医療機関によって、同一自治体の中でも検査実施時期や状況が異なるため、家族等が混乱する可能性がある
- 提供された情報が整理されていない場合や膨大な場合、その状況に対する対応方法が分からない場合には、情報提供が実施されたとしても、家族等はかえって不安になるケースがある
 - ・ 支援機関・施設・団体等によっては、家族等の心理状態や子どもの状況が異なるため、意図的に最低限の情報提供のみを実施している場合があった
 - ・ 保護者からの意見で、情報量が多いことに対して懸念を示すものもあった
(上記を踏まえて推測される影響)

- ・ 家族等は、情報を得て安心する場合もあれば、更に不安になるという場合もあるため、支援機関・施設・団体等が家族等へ提供する情報の内容・タイミングを精査することが難しく、情報提供が不十分になる、もしくは家族等が必要以上に不安を抱えてしまう可能性がある

(2) 今後に向けて（課題・提言）

(1) で明らかになった点に関して、今後の課題についての検討と、方針の提言を記載する。

1. 難聴児の家族等へ提供される情報の量に関して

- 家族等が入手できる情報が少ない
 - ・ 情報提供資料が各自治体で効果的に活用されるとともに、自治体とその協議会³が中心となって、ウェブ上での情報提供を積極的に行うことが望ましい
 - ・ 資料活用の手引きに記載した通り、各自治体とその協議会が中心となり、地域内の難聴児支援機能を把握・整理し、効果的に連携することが望ましい
- 必要十分かつ網羅的な情報が提供されていない
 - ・ 難聴児の支援機能を有する機関・施設・団体と専門家を含めた協議会が中心となり、難聴児に必要な情報を整理して、支援員への理解促進を行うことが肝要である。また、その際には情報提供資料を活用することを検討することが望ましい

2. 難聴児の家族等へ提供される情報の質に関して

- 家族等が迫られる選択について、幅広かつフラットな情報が少ない
 - ・ 補聴方法に関する情報提供について、偏りのない十分な情報提供と検討期間が提供されているかを検討し、必要に応じて協議会が主体となり指導を行うことが望ましい
 - ・ 補聴方法については、専門医・支援員が、家族等が幅広い選択肢を知った上で補聴器・人工内耳及び手話等の検討に寄り添うことが出来ることが望ましい
- 一般的な育児に関する考え方と掛け合わせた情報が少ない
 - ・ 難聴児に関する支援・情報提供の他に、育児全般に関する支援・情報提供についても合わせて議論し、関係部局・機関との連携を行うことが望ましい

3. 難聴児の家族等の情報へのアクセスについて

- 難聴児の子育て経験談に関する事例や、当事者コミュニティの情報等、より具体的

³協議会：医療機関、療育機関及び教育機関等関係機関で日常的な連携や情報交換を行い、新生児聴覚検査から診断、治療、療育、教育に至るまでの流れ、連携による支援の必要性について認識を共有し、関係を円滑にすることを目的として、厚生労働省より各自治体に設置を推奨されている機能

出典：厚生労働省（難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針）<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000902484.pdf>

で、詳細な情報につながる糸口が少ない

- ・ 当事者団体・支援団体が積極的に情報発信を行うとともに、各自治体とその協議会が拠点となり、各団体の活動状況を把握し、必要に応じて家族等に連携することが望ましい
 - 家族等が入手できる情報の地域差がある
 - ・ 各地域の支援の実態・状況を把握するとともに、不足している支援についてはその充足を検討することが望ましい
 - ・ また、各地域の情報を発信し、各地域に特有であるものはその旨が明らかになるようにすることが肝要である。また、その際には、本事業で作成した情報提供資料を活用することが望ましい
 - 家族等に提供される情報が、支援員個人の持つ情報や認識に依拠する場合がある
 - ・ 家族等が必要としている情報を整理し、情報提供の方法を検討することが肝要である
 - ・ 各地域で支援の中核となっている機関以外でも適切な情報提供が可能となるような体制を整備することが望ましい
 - 発達の段階に沿った情報が整理されていない
 - ・ 家族等がウェブ上で情報検索することを考えると、各自治体や公的機関等で、どのような人にどのようなタイミングで情報を提示しているか、明確に整理された上で家族等に対して案内があることが望ましい
 - ・ 家族等が適切な支援機関につながってから得ても遅くない情報と、子どもが新生児期であるときから情報を獲得し、育児や療育の見通しを立て・判断をするために必要な情報を区別して整理する必要がある。後者については、本事業で扱うべき領域と整理したため、行政機関が、本事業で作成した情報提供資料を積極活用することが望ましい
4. その他、難聴児支援全般に関して
- 知識やノウハウが体系化・共有知となっておらず、情報提供そのものが難しい
 - ・ 協議会を中心として家族等に必要な情報を整理した後、それらが十分に提供されているかを検討し、提供されていない場合は、その知識・ノウハウ等を有している支援員を育成・配置し、広く周知するために活動を行うことが望ましい
 - ・ 並行して、各支援員が充実した支援を行うために、協議会などが中心となり、支援の拡充について検討することが望ましい。
 - 新生児聴覚検査実施後～精密検査までに、推奨されている期間以上の時間を要する場合がある
 - ・ 新生児聴覚検査リファーマーから精密検査までのロードマップを作成し公開し、重要な情報は書面等の明確な形で提供することが肝要である

- ・ 1-3-6 rules⁴や1-2-3 month timeline⁵を実現できるよう、医療機関が迅速に精密検査を実施することを奨励することが肝要である
- ・ また、精密検査実施前の家族等に対する支援・ケアの重要性について、医療機関（専門医）を始めとした支援機関等が認知するために、協議会を中心とした活動を実施することが必要である
- 提供された情報が整理されていない場合や膨大な場合、その状況に対する対応方法が分からない場合には、情報提供が実施されたとしても、家族等がかえって不安になるケースがある
- ・ 支援機関・施設・団体が平等に情報提供を実施できる資料の準備と並行して、各支援機関・施設・団体にて相談体制を整え、地域でサポートしていく体制が理想的である

⁴1-3-6 rules: 「生後1か月までに新生児聴覚検査を完了し、3か月までに聴覚確定診断を受け、6か月までに早期介入を行う」こと

⁵1-2-3 month timeline : 1-3-6 rules を1か月・2か月・3か月とより進めたもの

付録 1 情報提供資料（本編）

別添資料を参照

付録 2 情報提供資料（概要版）

別添資料を参照

付録 3 資料活用の手引き

別添資料を参照

付録4 収集資料一覧

収集資料の詳細を次ページの通り一覧化した。

なお、オンライン調査で収集した資料は、資料が掲載されているウェブページの URL（令和5年3月時点のもの）を掲載したが、直接調査で収集した資料については割愛した。

「総ページ数」の列に「リーフレット」と記載がある資料は、A4紙が両面印刷されて3つ折りになっているものが該当する。

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数	(オンライン掲載資料の場合)URL ※令和5年3月時点のもの
オンライン	自治体	1	北海道保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課	北海道保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課	お子さんの「きこえ」の手引き	2021年	2	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/2/4/3/9/2/3/1/_/nanchou_tebiki.pdf
		2	岐阜県健康福祉部 福祉課	岐阜県健康福祉部 福祉課	お子さんのきこえのために	2021年	74	https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/273871.pdf
		3	岐阜県健康福祉部 福祉課	岐阜県健康福祉部 福祉課	お子さんのきこえのために(概要版)	2021年	24	https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/273872.pdf
	ろう学校	4	群馬県立豊学校	群馬県立豊学校	小・中学校の教育に関わるみなさまへ きこえにくさのある子どもがよりよく学校生活を送るために	2012年	3	https://rogakko-ses.gsn.ed.jp/wysiwyg/file/download/1/124
		5	東京都立大塚ろう学校	東京都立大塚ろう学校	赤ちゃんのおみみの相談	-	5	http://www.otsuka-sd.metro.tokyo.jp/site/zen/content/200000140.pdf
		6	神奈川県立平塚ろう学校 きこえとことばの相談支援センター	神奈川県立平塚ろう学校 きこえとことばの相談支援センター	ろう・難聴児サポートハンドブック	2020年	23	https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hiratsukarou-sd/nyugaku/sienbu/documents/r3_support_hand_book.pdf
	その他	7	日本補聴器工業会	日本補聴器工業会	Japan Trak 2018 調査報告	2018年	104	http://www.hochouki.com/order/
		8	日本補聴器工業会	日本補聴器工業会	補聴器お役立ちブック	-	-	http://www.hochouki.com/order/
		9	日本補聴器工業会	日本補聴器工業会	【HP】難聴の知識	-	-	http://www.hochouki.com/knowledge/
		10	日本補聴器工業会	日本補聴器工業会	【HP】聞こえのしくみと補聴器	-	-	https://www.jhida.org/hochouki/system.php
		11	テクノエイド協会	テクノエイド協会	「補聴器」の購入をお考えの皆様へー 認定補聴器専門店へご来店ください	-	8	https://www.techno-aids.or.jp/senmon/kounyuu.pdf
		12	日本コクレア社	日本コクレア社	【HP】人工聴覚器の検討(お子さま)	-	-	https://www.cochlear.com/jp/ja/home/diagnosis-and-treatment/when-to-consider-implants-for-children
		13	日本コクレア社	日本コクレア社	【HP】子どもの聴こえサポートウェブ	-	-	https://www.kikoosupport.jp/jp/kikoosupport
		14	日本バイオニクス社	日本バイオニクス社	【HP】聞こえの仕組み・人工内耳の仕組み	-	-	https://www.advancedbionics.com/jp/ja/home/how-hearing-and-ci-works.html
		15	メドエル・ジャパン社	メドエル・ジャパン社	【HP】きこえの仕組み	-	-	https://www.medel.com/ja
		16	ろうあ連盟	ろうあ連盟	【HP】きこえない・きこえにくいお子さんを持つパパ・ママのための情報支援ポータル	-	-	https://www.jfd.or.jp/sgh/okosan/
		17	ろうあ連盟	ろうあ連盟	きこえない・きこえにくいお子さんを持つママ・パパへ	-	5	https://www.jfd.or.jp/2021/08/25/pid22491
		18	ろうあ連盟	ろうあ連盟	きこえない子どもと共にー 自信をもって大きくなあれ	-	-	https://jfd.shop-pro.jp/?pid=3945035
		19	ろうあ連盟	ろうあ連盟	新たつちやんと学ぼう 耳の聞こえない人たちのこと	-	-	https://jfd.shop-pro.jp/?pid=109350054
		20	厚生労働省	厚生労働省	障害者支援機器の活用ガイドブック	2018年	60	https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/000307902.pdf

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	自治体	21	北海道	北海道	【北海道】お子さんの「きこえ」の手引き	2021年	56
		22	札幌市	札幌市	札幌市子どもの補聴器購入費等助成事業実施要綱 (R3.7)	2021年	9
		23	札幌市	札幌市	子どもの補聴器購入費等助成事業リーフレット (R4.7)	2022年	1
		24	旭川市	旭川市	聞こえない・聞こえにくいお子さんを育てる保護者の皆様へ ～ろう 児保護者子育て体験談リーフレット～	-	4
		25	岩手県	岩手県	聴覚障がい児支援に関する取組み	-	13
		26	岩手県	岩手県	岩手県難聴児補聴器購入助成事業費補助金交付要綱	-	3
		27	岩手県	岩手県	岩手県難聴児補聴器購入助成事業実施要領	2022年	4
		28	岩手県	岩手県	いわての母子保健技料	2019年	2
		29	岩手県	岩手県	きこえとことばの相談等	-	5
		30	仙台市	仙台市障害者総合支援セン ター	難聴児の補聴器購入等の助成制度 (R4)	2022年	1
		31	秋田県	秋田県	きこえのハンドブック	2020年	74
		32	秋田県	秋田県	聴覚言語発達リスト	-	2
		33	秋田県	秋田県	新生児聴覚検査に関する案内 (赤ちゃんのきこえと新生児聴覚検査に ついて (ご案内)、新生児聴覚 (スクリーニング) 検査のお知らせ、新 生児聴覚検査結果のお知らせ (異常なしの場合と要検査の場合))	-	6
		34	山形県	山形県	山形県軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業フロー図	2014年	1
		35	山形県	山形県	山形県軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業 (御案内)	-	1
		36	茨城県	茨城県	赤ちゃんの耳の聞こえ (聴覚) の検査について	-	1
		37	栃木県	栃木県	新生児聴覚検査を受けましょう！	-	2
		38	栃木県	栃木県	新生児聴覚検査結果が要再検査 (リファア) となった方へ	-	2
		39	栃木県	栃木県	新生児聴覚検査の精密聴力検査を受けましょう！	-	2
		40	栃木県	栃木県	新生児聴覚検査を受けていない方へ検査を受けましょう！	-	2
		41	さいたま市	さいたま市	新生児聴覚検査を知っていますか？	-	リーフレ ット
		42	船橋市	船橋市	船橋市軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成制度のご案内	-	1
		43	柏市	柏市	令和4年度版障害福祉のしおり	2022年	114
		44	柏市	柏市	令和4年度版障害福祉のしおり (団体・施設一覽)	2022年	20
		45	八王子市	八王子市	中等度難聴児発達支援事業 (補聴器購入費の助成)	2020年	2
		46	八王子市	八王子市	八王子市中等度難聴児発達支援事業補聴器購入費助成要綱	2020年	6
		47	神奈川県	神奈川県	【参考】新生児聴覚スクリーニング検査の手引き	2020年	55
		48	神奈川県	神奈川県	【参考】新生児聴覚啓発リーフレット	-	2

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	自治体	49	川崎市	川崎市	新生児聴覚検査のお知らせ	-	2
		50	川崎市	川崎市	新生児聴覚検査費用の償還払いのご案内	-	2
		51	川崎市	川崎市	きこえない きこえない 親子のための乳幼児教育相談	-	1
		52	川崎市	川崎市	川崎市立聾学校 乳幼児教育相談	-	1
		53	川崎市	川崎市	難聴児用補聴器給付のご案内	-	2
		54	新潟市	新潟市	制度のお知らせ(新潟市難聴児補聴器給付事業)	2022年	2
		55	石川県	石川県	リーフレット①妊娠中用	2020年	1
		56	石川県	石川県	リーフレット②出産前後用	2020年	2
		57	石川県	石川県	リーフレット③検査結果	-	4
		58	石川県	石川県	リーフレット④refer 説明用	-	8
		59	石川県	石川県	リーフレット⑤助産所説明用	2010年	2
		60	金沢市	金沢市	金沢市難聴児補聴器給付事業案内	-	1
		61	福井県	福井県	新生児聴覚検査チラシ	2019年	2
		62	福井県	福井県	新生児聴覚検査マニュアル	-	7
		63	山梨県	山梨県	新生児聴覚検査の手引	2008年	43
		64	山梨県	山梨県	赤ちゃんの耳のきこえ(聴覚)の検査について～保護者の方へ～	-	2
		65	長野県	長野県	赤ちゃんのことは新生児聴覚スクリーニングで「要検査」を伝えられたご家族の方へ	-	13
		66	長野県	長野県	長野県難聴児支援センター	-	リーフレット
		67	長野県	長野県	難聴幼児・児童サポートブック 幼稚園・小学校で難聴児を支える先生方へ	-	14
		68	長野県	長野県	新生児聴覚スクリーニングは99%の方が受けている検査です	-	2
		69	長野県	長野県	赤ちゃんのことは(要再検査対象者用リーフレット)	-	8
		70	岐阜県	岐阜県	赤ちゃんの健康な発育をねがってすこやかに	2022年	42
		71	岐阜県	岐阜県	新生児聴覚検査について	-	1
		72	岐阜県	岐阜県	新生児聴覚スクリーニング検査結果のお知らせ (Pass用・Refer用)	-	各1
		73	岐阜県	岐阜県	お子さんにお母さん・お父さんの声は聞こえていますか?	-	2
		74	岐阜県	岐阜県	一側性難聴について	-	5
75	岐阜県	岐阜県	こんにちは！きこえない子どもたち	-	18		
76	岐阜県	岐阜県	お子さんのきこえのために	2021年	72		

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	自治体	77	岐阜県	岐阜県難聴児支援センター	岐阜県難聴児支援センター	-	リーフレット
		78	岐阜県	岐阜県難聴児支援センター	お子さんのきこえのために 概要版	2021年	22
		79	静岡県	静岡県	～聴覚障害児相談～聴覚に障害のあるお子さんとご両親をサポートします！	2022年	1
		80	静岡県	静岡県	お子さんの聴覚に気がかりや心配のあるピアカウセンリング	2022年	2
		81	静岡県	静岡県	片耳が聞こえにくいと聞かれたら	2021年	リーフレット
		82	静岡県	静岡県	新生児聴覚スクリーニング検査について	-	リーフレット
		83	静岡県	静岡県	赤ちゃんの聞こえを心配されるお母さんへ	2021年	リーフレット
		84	静岡県	静岡県	難聴児のより良いきこえのために補聴援助システムを貸し出しています！	2022年	リーフレット
		85	静岡県	静岡県	静岡県新生児聴覚スクリーニング検査と事後対応マニュアル	2021年	73
		86	静岡市	静岡市	①各区の障害者支援課窓口で配架している助成制度のチラシ	2022年	2
		87	静岡市	静岡県乳幼児聴覚支援センター	②保健センターで対象者へお渡しする県作成のリーフレット	2017年	リーフレット
		88	静岡市	静岡県	③県障害福祉課作成のピアカウセンリングのチラシ	2022年	2
89	愛知県	愛知県	新生児聴覚検査 案内リーフレット	2021年	2		
90	愛知県	愛知県立千種豊学校	千種豊学校 R4 きこえとことばの個別相談会	2022年	1		
91	愛知県	愛知県立千種豊学校	千種豊学校 教育相談 案内1	-	1		
92	愛知県	愛知県立千種豊学校	千種豊学校 教育相談 案内2	-	1		
93	愛知県	愛知県立千種豊学校	千種豊学校 教育相談 案内3	-	1		
94	愛知県	愛知県立千種豊学校	千種豊学校 保護者教室 案内	-	1		
95	愛知県	愛知県立豊橋豊学校	豊橋豊学校 見学説明会 案内	2022年	3		
96	愛知県	愛知県	岡崎豊学校 乳幼児教室・集団活動・口座 案内	-	2		
97	愛知県	愛知県立一宮豊学校	一宮豊学校 教育相談 案内	-	2		
98	名古屋市長古屋市	名古屋市長古屋市	名古屋市長古屋市 豊橋豊学校 乳幼児教室・中等度難聴児補聴器購入助成事業実施要綱	-	7		
99	一宮市	一宮市	一宮市 難聴児補聴器購入等助成のご案内	-	2		
100	三重県	三重県立子ども心身発達医療センター	つくしんぼ案内	-	1		
101	三重県	三重県	三重県における新生児聴覚スクリーニングの手引き (H31.3) ※R4.1時点修正	2022年	35		
102	三重県	三重県	三重県補聴器購入費用助成制度ウェブページ	-	1		

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数	
直接調査	自治体	103	三重県	三重県立子ども心身発達医療センター 難聴児支援課	難聴児支援センターパンフ	-	リーフレット	
		104	三重県	三重県	きこえの手帳	2016年	31	
		105	滋賀県	滋賀県	交付金要綱 (R4. 4. 1)	2022年	8	
		106	滋賀県	滋賀県	実施要綱 【R3. 4. 1】	2021年	12	
		107	大阪府	大阪府	大阪府新生児聴覚検査の手引き	2022年	48	
		108	大阪府	大阪府	赤ちゃんの耳の聞こえ	2022年	2	
		109	大阪府	大阪府	大阪府新生児聴覚検査から支援までを遅滞なく円滑に実施するための手引き	2022年	41	
		110	大阪市	大阪市	大阪市 IP「軽度・中等度難聴児に補聴器の購入費用・修理費用を助成します」	-	-	-
		111	大阪市	大阪市	☆難聴児補聴器給付事業について (周知用ビラ) R4. 4. 1～	2022年	1	1
		112	兵庫県	兵庫県言語聴覚士会	01 聴覚障害児支援力向上研修案内	-	-	2
		113	兵庫県	兵庫県言語聴覚士会	02 聴覚障害児支援力向上研修案内	-	-	2
		114	兵庫県	兵庫県	新生児聴覚スクリーニング検査のご案内	-	-	8
		115	兵庫県	兵庫県教育委員会	聴覚相談支援リーフレット	2022年	2	2
		116	兵庫県	兵庫県	補聴器購入費等助成事業	2022年	5	5
		117	奈良市	一般財団法人全日本ろうあ連盟	パンフレット『きこえない・きこえにくいお子さんを持つママ・パパへ』	-	-	4
		118	奈良市	奈良市	「障害者福祉のしおり」	2022年	70	70
		119	鳥取県	鳥取県立鳥取聾学校	鳥取聾学校	-	-	1
		120	鳥取県	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会	鳥取県きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター「きき」	-	-	リーフレット
		121	鳥取県	鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校	鳥取聾学校ひまわり分校	-	-	2
		122	鳥取県	鳥取県	新生児聴覚検査	-	-	-
		123	鳥取市	鳥取市	◎03R4. 4～補装具制度について (ご案内)	2022年	1	1
		124	鳥取市	鳥取市	(身障) 手帳新規交付時の案内	-	-	2
		125	鳥取市	鳥取市	「きき」のお知らせ	-	-	2
		126	鳥取市	鳥取市	手帳対象外補聴器購入助成事業 (R4. 7. 2. 鳥取聾学校)	2022年	1	1
		127	鳥取市	鳥取市	日常生活用具制度概要	-	-	1
		128	鳥取市	鳥取市	R4 日常生活用具要綱 (聴覚障害抜粋)	2022年	2	2
		129	鳥根県	鳥根県	一側性難聴のお子さんの配慮について	2011年	1	1
		130	松江市	松江市	松江市難聴児補聴器購入費助成事業実施要綱	2012年	4	4

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	自治	131	岡山県	岡山県立岡山豊学校	1号支援だより	2022年	2
		132	岡山県	岡山県立岡山豊学校	令和4年度聴覚障害教育に関する研修会(案内)	2022年	1
		133	岡山県	岡山県立岡山豊学校	令和5年度岡山県立岡山豊学校幼稚園部幼児募集要項	-	1
		134	岡山県	岡山県	岡山県新生児聴覚検査事業の手引き(改訂4版)(平成31(2019)年2月作成)	2019年	57
		135	広島県	広島県	障害のある子供と保護者のための教育支援ガイドブック	2022年	25
		136	広島市	広島市	聴覚精密検査 お子様「聞こえ」が心配な保護者の方へ	-	1
		137	広島市	広島市	「聞こえ」の育ちチェック表	-	1
		138	呉市	呉市	新生児聴覚検査	-	2
		139	呉市	呉市	呉市ホームページ 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業	-	
		140	福山市	福山市	事業者一覧 児童発達支援センター(難聴児対応の事業所を含む)	2022年	1
		141	福山市	福山市	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	-	10
		142	山口県	山口県	新生児聴覚検査および難聴児の早期療育・教育支援ハンドブック	2021年	68
		143	高知県	県立療育福祉センター	児童発達支援センター 難聴児通所(ポニー)	-	4
		144	高知県	県立療育福祉センター	難聴児の子育て(きこえについて)	-	4
		145	高知県	高知県	新生児聴覚検査リーフレット(表面)	-	1
		146	高知県	高知県	新生児聴覚検査リーフレット(中面)	-	1
		147	福岡県	福岡県	重度障がい者医療費支給制度	2022年	3
		148	福岡県	福岡県	福岡県軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	2022年	3
		149	北九州市	北九州市	①赤ちゃんの育ちに大切な関わり	-	1
		150	北九州市	北九州市	②子どもの育ちに大切な関わり	-	1
151	北九州市	北九州市	③きこえるしくみ	-	1		
152	北九州市	北九州市	④きこえの検査 ⑤オーディオグラム ⑥声と音の大きさ	-	3		
153	北九州市	北九州市	⑦補聴器の取り扱いについて改訂版	-	1		
154	北九州市	北九州市	⑧人工内耳について改訂版	-	1		
155	北九州市	北九州市	⑨療育の流れについてなど	-	1		
156	北九州市	北九州市	⑩楽しく音に気づかせましょう(聴覚学習)	-	2		
157	佐賀県	佐賀県	軽度・中度難聴児補聴器購入費助成	-	2		
158	佐賀県	佐賀県立ろう学校	佐賀県立ろう学校 きこえやことばの相談	-	2		
159	佐賀県	佐賀県	新生児聴覚スクリーニング検査のご案内	2019年	リーフレット		

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	自治体	160	長崎県	長崎県	新生児聴覚検査のご案内	2020年	リーフレット
		161	佐世保市	長崎県	お子さんにはお母さんの声が聞こえていますか？	-	2
		162	佐世保市	長崎県立ろう学校佐世保分校	きこえやことばの発達が気になるお子さんの保護者の方へ 乳幼児教育相談	-	リーフレット
		163	佐世保市	長崎県	新生児聴覚検査のご案内	2020年	リーフレット
		164	佐世保市	長崎県	ながさき聴覚障害児支援事業ホームページのご案内	-	8
		165	熊本県	熊本県	1-①_熊本県難聴児補聴器購入助成事業実施要項	2018年	3
		166	熊本県	熊本県	1-②_実施要項様式	-	5
		167	熊本県	熊本県立熊本豊学校内乳幼児教育相談室「うさぎルーム」	2-①_うさぎルームパンフレット	-	6
		168	熊本県	熊本県立熊本豊学校内乳幼児教育相談室「うさぎルーム」	2-②_うさぎルームリーフレット (新生児聴覚スクリーニングで要検査となられたこどもの保護者向け)	-	4
		169	熊本県	熊本県ひばり園	3_児童発達支援センター熊本県ひばり園療育の手引	2022年	28
		170	大分県	大分県立豊学校	2022年ひよこパンフ	2022年	2
		171	大分県	大分県立豊学校	20222版みみサポリーフレット	2022年	リーフレット
		172	大分市	大分市	軽度・中度聴覚障がい児補聴器購入費助成事業案内	-	1
		173	大分市	大分市	特別支援教育・保育の申込みについての流れ(新規入所児) (※補足：難聴児に特化したものではありません)	-	1
		174	鹿児島市	鹿児島市	難聴児補聴器購入費助成事業	-	1
		175	沖縄県	鹿兒島市	乳幼児教育相談 グループ・個別相談支援について	-	1
		176	沖縄県	県立沖縄ろう学校	乳幼児教育相談「ひまわり」案内資料	-	1
		177	沖縄県	県立沖縄ろう学校	乳幼児教育相談日課表	-	1
		178	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	ひよこグループ ～お子さんとのコミュニケーションを楽しむために～	-	1
		179	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	ひよこグループ ～お子さんとのコミュニケーションを豊かにするために～ 予告しよう！	-	1
		180	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	ひよこグループ ～お子さんとのコミュニケーションを豊かにするために～ 確認をしよう！	-	1
		181	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	りすぐみ 懇談会	-	3
		182	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	りすぐみ 保護者グループ 「通所とは」	-	4

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	児童発達支援センター	183	ライシャワ・クレママ学園	ライシャワ・クレママ学園	聴覚に障がいのある乳幼児の育て方	2018年	49
		184	ライシャワ・クレママ学園	ライシャワ・クレママ学園	ライシャワ・クレママ学園 パンフレット	-	2
		185	ライシャワ・クレママ学園	ライシャワ・クレママ学園	学校法人 日本聾話学校 パンフレット	2021年	6
		186	ライシャワ・クレママ学園	ライシャワ・クレママ学園	絵本「ねえねえあしたもいっぱいおはなしようね」	-	24
		187	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室のリーフレット	2014年	リーフレット
		188	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台だより (No. 51～53)	2020年	各10
		189	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	耳掛け補聴器装用上の注意点	-	2
		190	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	家庭での補聴器の手入れ	-	1
		191	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	聴力検査の種類と目的、補聴器等についての資料	-	5
		192	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	難聴の診断から補聴器購入まで	-	1
		193	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	【0・1歳クラスのみなさんへ】	-	2
		194	富士見台聴こえとことばの教室	富士見台聴こえとことばの教室	0歳児・1歳児クラスへ今、大切にしたいこと～	-	6
		195	やまびこルーム	やまびこルーム	難聴と診断されたお子さんを持つ親御さんへ（伝音性難聴の場合の補聴器情報）	-	-
		196	やまびこルーム	やまびこルーム	難聴と診断されたお子さん担当する先生へ	-	6
		197	やまびこルーム	やまびこルーム	第5回 保護者向けセミナー「ことばの発達について」	2022年	4
		198	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	きこえについて 2022.6 現地用 資料	2022年	6
		199	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	教育について R3年度 資料	2021年	2
		200	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	新入園保ココミュニケーション2021 資料	2021年	6
		201	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	聴覚言語・発達2020 資料	2020年	3
		202	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	福祉制度について R3年度	2021年	9
		203	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	横浜市総合リハビリテーション ヨンセンター	補聴器について 2021年 0908.pptx 資料	2021年	5
		204	すぎのこ学園	すぎのこ学園	リーフレット	-	リーフレット
		205	すぎのこ学園	すぎのこ学園	R3事業概要（完成版）	2022年	83

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	児童発達支援センター	206	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	きこえと補聴器のはなし	-	20
		207	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	きこえないきこえにくいお子さんを持つママパパへ	-	-
		208	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	難聴のお子さんと保護者のための難聴児療育のロードマップ	-	-
		209	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	難聴をもつ小中高校生の学校生活で大切なこと	2021年	14
		210	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	身体障害者低調の交付手続きの流れ、身体障害者手帳を持つていない児への援助について	-	2
		211	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	富山市リハビリテーション病院 子ども支援センター	グループ訓練時の説明資料	-	12
		212	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	子どもとのかかわりを考えるにあたって	-	8
		213	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	あかちやんからのきこえの相談	-	リーフレット
		214	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	赤ちやんのきこえの検査（新生児聴覚スクリーニング）についてのご案内	2022年	リーフレット
		215	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	聴力図	-	1
		216	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	補聴器について	-	6
		217	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	聴力検査について	-	2
		218	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	補聴器の管理	-	4
		219	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	補聴器の取扱管理	-	2
		220	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	人工内耳の補聴効果について	-	4
		221	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	ことばについて①	-	5
		222	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	発音のはなし	-	4
		223	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	進路について（2種類）	-	5
		224	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	京都市難聴児補聴器購入費助成事業（子ども家庭支援課作成）	-	1
		225	児童福祉センターうさぎ園	児童福祉センターうさぎ園	子どもとのかかわりを考えるにあたって	-	8
		226	ゆうなぎ園	ゆうなぎ園	原稿『きこえのはなし』	-	23
		227	ゆうなぎ園	ゆうなぎ園	聞こえのしくみと必要な配慮	-	-
		228	ゆうなぎ園	ゆうなぎ園	補聴器作成のご案内	-	2
229	かなりや学園	かなりや学園	こぐま時期のことばとこころ	-	15		
230	かなりや学園	かなりや学園	就学に向けて（2019 4歳児向け）	-	37		
231	かなりや学園	かなりや学園	2022年度入門講座こぐま	2022年	17		
232	かなりや学園	かなりや学園	入園前オリエンテーション	2022年	4		

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	児童発達支援センター	233	かなりや学園	かなりや学園	R4 2歳児絵日記	2022年	15
		234	「ゼノ」こばと園	「ゼノ」こばと園	りすグループ(2歳児)きこえの学習(2022年6月22日)	2022年	23
		235	「ゼノ」こばと園	「ゼノ」こばと園	聴覚障害について(2021きこえの学習会)	2021年	47
		236	香川こだま学園	香川こだま学園	聴覚障害について 補聴器・人工内耳	-	5
		237	香川こだま学園	香川こだま学園	資料(難聴児が困ること・ロジャール編)	-	2
		238	香川こだま学園	香川こだま学園	R4保護者学級療育方針	2022年	14
		239	北海道札幌豊学校	北海道札幌豊学校	【札幌豊学校】R4パンフレット	2022年	2
		240	北海道札幌豊学校	北海道札幌豊学校	【札幌豊学校】R4ポスター	2022年	1
		241	北海道札幌豊学校	北海道札幌豊学校	【札幌豊学校】R4リファーマー後の相談(保健師さんへ)	2022年	1
		242	北海道帯広豊学校	北海道帯広豊学校	【帯広豊学校】R4乳幼児相談室リーフレット	2022年	2
		243	北海道函館豊学校	北海道函館豊学校	【函館豊学校】R4教育相談リーフレット	2022年	2
		244	北海道函館豊学校	北海道函館豊学校	【函館豊学校】R4教育相談ポスター	2022年	1
		245	北海道函館豊学校	北海道函館豊学校	【函館豊学校】令和4年パンフレット(乳相用)	2022年	1
		246	青森県立青森豊学校	青森県立青森豊学校	そだちとまなびの支援センター あおもり(青森豊学校)	-	2
		247	青森県立青森豊学校	青森県立青森豊学校	教育相談のご案内	-	2
		248	青森県立八戸豊学校	青森県立八戸豊学校	片方のお耳が聞こえにくい ～一側性難聴といひます～	-	1
		249	青森県立八戸豊学校	青森県立八戸豊学校	見え、聞こえ、ことば、発達に気になる方のための八戸盲学校・八戸豊学校 協働 相談支援センターのご案内	-	4
		250	青森県立八戸豊学校	青森県立八戸豊学校	八戸盲学校・八戸豊学校 協働 相談支援センター サテライト教室	-	2
		251	青森県立八戸豊学校	青森県立八戸豊学校	子どもへの話の仕方	-	1
		252	青森県立八戸豊学校	青森県立八戸豊学校	補聴器の管理	-	1
		253	青森県立八戸豊学校	青森県立八戸豊学校	子どもと話をするときの配慮事項	-	1
		254	青森県立弘前豊学校	青森県立弘前豊学校	そだちとまなびの支援センター	-	2
		255	青森県立弘前豊学校	青森県立弘前豊学校	そだちとまなびの支援センター	-	リーフレット
		256	青森県立弘前豊学校	青森県立弘前豊学校	こんにちは。青森県立弘前豊学校そだちとまなびの支援センターです。	-	2
		257	青森県立弘前豊学校	青森県立弘前豊学校	子育て中の保護者のみなさまへ	-	2
		258	青森県立弘前豊学校	青森県立弘前豊学校	小・中学校 高等学校の先生方へ	-	2
259	岩手県立盛岡聴覚支援学校	岩手県立盛岡聴覚支援学校	きこえにくさくのある児童・生徒が明るく学校生活を送るために	-	4		
260	岩手県立盛岡聴覚支援学校	岩手県立盛岡聴覚支援学校	きこえにくさくことばの相談支援のご案内	-	4		

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	ろう学校	261	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	ひよこ相談のしおり	-	リーフレット
		262	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	令和4年度 早期教育相談のしおり	2022年	4
		263	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	ひよこ相談だより 2022年4月 No.1	2022年	2
		264	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	ひよこ相談だより 2022年5月 No.2	2022年	2
		265	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	ひよこ相談だより 2022年6月 No.3	2022年	2
		266	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	ひよこ相談だより 2022年7・8月 No.4	2022年	1
		267	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	ひよこ相談だより 2022年9月 No.5	2022年	1
		268	宮城県立聴覚支援学校	宮城県立聴覚支援学校	聴覚支援学校の地域支援	-	2
		269	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	令和4年度 早期教育相談のご案内	2022年	1
		270	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	ひよこだより R4.5.24	2022年	1
		271	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	ひよこだより R4.7.24.26	2022年	1
		272	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	ひよこだより R4.9.27	2022年	1
		273	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	宮城県立聴覚支援学校 小 牛田校	ひよこだより R4.10.4 11.15	2022年	1
		274	秋田県立聴覚支援学校	秋田県立聴覚支援学校	きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）にある、乳幼児教室もくみです	-	2
		275	秋田県立聴覚支援学校	秋田県立聴覚支援学校	きこえとことば支援センター	-	2
		276	秋田県立聴覚支援学校	秋田県立聴覚支援学校	補聴器の取り扱いについて	-	2
		277	秋田県立聴覚支援学校	秋田県立聴覚支援学校	聴覚言語発達リスト（田中・遠藤）	-	1
		278	秋田県立聴覚支援学校	秋田県立聴覚支援学校	きこえのハンドブック 聴覚児保護者のための教育講座	-	74
		279	山形県立山形聾学校	山形県立山形聾学校	きこえとことばの教育相談	-	リーフレット
		280	山形県立山形聾学校	山形県立山形聾学校	きこえにくさのある子どもが安心して学校生活を送るために【聴覚児支援リーフレット 山形県立山形聾学校】	-	3
		281	福島県立聴覚支援学校	福島県立聴覚支援学校	【福島聴支】R4地域支援センター リーフレット	2022年	リーフレット
		282	茨城県立水戸聾学校	茨城県立水戸聾学校	小・中・高校生のきこえとことばの教育相談	-	リーフレット
		283	茨城県立水戸聾学校	茨城県立水戸聾学校	きこえとことばの教育相談	-	リーフレット
		284	茨城県立水戸聾学校	茨城県立水戸聾学校	SCHOOL GUIDE 「明日もまた来なくなる学校」	-	4
		285	群馬県立聾学校幼稚部	群馬県立聾学校	はじめての補聴器	-	18

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	ろう学校	286	群馬県立豊学校	群馬県立豊学校	群馬県立豊学校 聴覚障害支援センター	-	2
		287	群馬県立豊学校	群馬県立豊学校	群馬県立豊学校乳幼児教育相談のご案内	-	1
		288	群馬県立豊学校	群馬県立豊学校	おうちであそぼう！ ～ことばの基礎はあそびから。いっしょにあそんでみよう。	-	2
		289	群馬県立豊学校	群馬県立豊学校	おうちでかんたん、つくってみよう！ てづくりおもちゃ	-	4
		290	東京都立葛飾ろう学校	東京都立葛飾ろう学校	きこえとことばの かつしかひよこルーム 乳幼児教育相談	-	2
		291	東京都立葛飾ろう学校	東京都立葛飾ろう学校	きこえとことばの かつしかひよこルーム 乳幼児教育相談	-	1
		292	筑波大学付属聴覚特別支援学校	筑波大学付属聴覚特別支援学校	きこえとことばの乳幼児教育相談 けやきルーム	-	リーフレット
		293	筑波大学付属聴覚特別支援学校幼稚部	筑波大学付属聴覚特別支援学校幼稚部	はじめのいっば ー補聴器についてー	-	22
		294	筑波大学付属聴覚特別支援学校幼稚部	筑波大学付属聴覚特別支援学校幼稚部	はじめのいっば ーわかる伝え方ー	-	12
		295	川崎市立豊学校	川崎市立豊学校	きこえないきこえにくいくいお子さんのための乳幼児教育相談	-	2
		296	川崎市立豊学校	川崎市立豊学校	聴覚支援センター	-	1
		297	川崎市立豊学校	川崎市立豊学校	きこえない・きこえにくいくいの子を支援する先生のためのサポートブック	2016年	64
		298	横浜市立ろう特別支援学校	横浜市立ろう特別支援学校	横浜市にお住まいの 聞こえに心配のある赤ちゃんやお子さんのための教育相談のご案内	-	リーフレット
		299	横須賀市立ろう学校	横須賀市立ろう学校	横須賀市立ろう学校「ひよこ教室」パンフ	-	リーフレット
		300	横須賀市立ろう学校	横須賀市立ろう学校	横須賀市立ろう学校乳幼児教育相談資料「きこえにくいくいお子さんの理解と支援」	2022年	22
		301	富山県立高岡聴覚総合支援学校	富山県立高岡聴覚総合支援学校	富山県立高岡聴覚総合支援学校 学校案内	-	4
		302	石川県立ろう学校	石川県立ろう学校	きこえの相談支援センターのご案内	-	2
		303	石川県立ろう学校	石川県立ろう学校	乳幼児教室のご案内 ～豊かなことばを育むために～	-	4
		304	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	保護者学級のご案内	-	1
		305	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	乳幼児教室 保護者学級 手話・指文字	-	5
		306	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	きこえのしくみと疾病のサイン	-	3
		307	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	聴覚障害について	-	4
		308	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	聴覚活用について	-	12
		309	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	言葉の発達とコミュニケーション	-	12
		310	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	言葉の発達	-	1
		311	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	補聴器購入に関する福祉制度について	-	4
		312	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	絵本をたのしもう！	-	3

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	ろう学校	313	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	「絵本の与え方」	-	3
		314	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	幼児の発達と生活	-	5
		315	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	聴覚障害と人工内耳	-	6
		316	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	就学決定までの流れ	-	3
		317	岐阜県立岐阜豊学校	岐阜県立岐阜豊学校	令和4年度 就学について	2022年	2
		318	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	難聴のお子さんが在籍する子ども園・幼稚園 保育園の先生へ	-	リーフレット
		319	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	絵日記に挑戦！	-	4
		320	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	子どもの発達段階 幼児期と乳幼児期の特徴	-	9
		321	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	5月のスキルちゃん	-	1
		322	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	6月のスキルちゃん	-	1
		323	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	7月のスキルちゃん	-	1
		324	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	9月のスキルちゃん	-	1
		325	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	10月のスキルちゃん	-	1
		326	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	11月のスキルちゃん	-	1
		327	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	12月のスキルちゃん	-	1
		328	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	1月のスキルちゃん	-	1
		329	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	2月のスキルちゃん	-	1
		330	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	3月のスキルちゃん	-	1
		331	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	子どもへの話しかけ方	-	1
		332	静岡県立沼津聴覚特別支援学校	静岡県立沼津聴覚特別支援学校	乳幼児教育相談等作成資料について	2022年	1
		333	静岡県立沼津聴覚特別支援学校	静岡県立沼津聴覚特別支援学校	乳幼児 身振りサイン表	-	28
		334	静岡県立浜松聴覚特別支援学校	静岡県立浜松聴覚特別支援学校	-	-	5
		335	愛知県立岡崎豊学校	愛知県立岡崎豊学校	ことばの発達を促す生活を！	-	4

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	ろう学校	336	愛知県立岡崎聾学校	愛知県立岡崎聾学校	きこえとことばの乳幼児教育相談あひるぐみ	-	2
		337	愛知県立千種聾学校	愛知県立千種聾学校	聾乳幼児教育相談のご案内	-	2
		338	愛知県立千種聾学校	愛知県立千種聾学校	乳幼児教育相談はこんなところです	-	1
		339	愛知県立千種聾学校	愛知県立千種聾学校	保護者支援パパママ応援団	-	1
		340	愛知県立千種聾学校	愛知県立千種聾学校	保護者用おたより 一覧 R3年度	2021年	1
		341	愛知県立千種聾学校	愛知県立千種聾学校	うさぎぐみだより1 8 初秋の服選び	-	1
		342	愛知県立千種聾学校	愛知県立千種聾学校	ひよこぐみだより1 5 散歩のすすめ	-	1
		343	愛知県立千種聾学校	愛知県立千種聾学校	ピヨピヨだより 8 写真カードを作りました	-	1
		344	愛知県立豊橋聾学校	愛知県立豊橋聾学校	豊橋学校ひよこぐみ 乳幼児教育相談	-	4
		345	愛知県立一宮聾学校	愛知県立一宮聾学校	【一宮聾】R4年版・教育相談リーフレット	2022年	2
		346	京都府立聾学校	京都府立聾学校	京都府聴覚支援センターご案内	-	リーフレット
		347	京都府立聾学校	京都府立聾学校	さくらんぼ教室開設	-	2
		348	京都府立聾学校 舞鶴分校	京都府立聾学校 舞鶴分校	聞こえにくいと分かったお子さんのための乳幼児教育相談（通称 ひよこ組）	-	2
		349	生野聴覚特別支援学校	大阪府立生野聴覚特別支援学校	「言葉の習得が」が私たちの目標です。	-	2
		350	生野聴覚特別支援学校	大阪府立生野聴覚特別支援学校	2022年度子育て講座”きこえ”と”ことば”を育てるために	2022年	2
		351	大阪府立堺聴覚支援学校	大阪府立堺聴覚支援学校	大阪府立堺聴覚支援学校 聴覚支援センター	-	リーフレット
		352	大阪府立堺聴覚支援学校	大阪府立堺聴覚支援学校	0歳から5歳のきこえとことばの相談	-	2
		353	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	聞こえのそうだん	-	3 (リーフレット)
		354	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	0歳児集団教室（月1回程度）	-	2
		355	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	親子で絵本を楽しもう！	-	1
		356	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県こばと聴覚特別支援学校 学校案内	-	リーフレット
		357	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	おすすめ絵本リスト 1歳児	-	1
		358	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	おすすめ絵本リスト 2歳児	-	1
		359	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	おすすめ絵本リスト 3歳児	-	1
		360	奈良県立ろう学校	奈良県立ろう学校	学校要覧 令和4年度 奈良県立ろう学校	2022年	4

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	ろう学校	361	奈良県立ろう学校	奈良県立ろう学校	令和4年度 幼児児童生徒資料	2022年	2
		362	奈良県立ろう学校	奈良県立ろう学校	きこえのしくみと補聴機器	2021年	11
		363	奈良県立ろう学校	奈良県立ろう学校	きこえに関わる福祉・教育制度	2022年	6
		364	奈良県立ろう学校	奈良県立ろう学校	ことばの土台をはぐくむ	2022年	5
		365	奈良県立ろう学校	奈良県立ろう学校	ひよこぐみ 入門講座のご案内	-	1
		366	奈良県立ろう学校	奈良県立ろう学校	きこえとことば 教育相談のご案内	-	リーフレット
		367	和歌山県立和歌山ろう学校	和歌山県立和歌山ろう学校	きこえとことばの相談	-	リーフレット
		368	和歌山県立和歌山ろう学校	和歌山県立和歌山ろう学校	きこえとことば ことばの相談	-	2
		369	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	松江ろう学校 乳幼児教育相談 「ことばめぐみ」	-	1
		370	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	松江ろう学校 乳幼児教育相談のご案内	-	1
		371	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	乳幼児教育相談の取り組み「新生児聴覚検査を経た乳幼児のフォローアップの課題」	2007年	11
		372	益田市保険師研修会	島根県立松江ろう学校	益田市におけるフォローアップ体制を考える	2013年	4
		373	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	難聴疑似体験を利用した聴覚障害の理解と受容に関する支援	-	2
		374	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	聾学校のセンター的機能をもった地域支援の取り組み	-	2
		375	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	ろう学校乳幼児教育相談における個別の家族支援プログラム	-	12
		376	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	公立ろう学校における難聴児早期支援	2021年	12
		377	島根県立松江ろう学校	島根県立松江ろう学校	学校経営における乳幼児教育相談の位置付け	-	24
		378	岡山県立岡山聾学校	岡山県立岡山聾学校	きこえやことばに不安がある 0歳児からの乳幼児相談室	-	1
		379	岡山県立岡山聾学校	岡山県立岡山聾学校	岡山聾学校 きこえの相談室	-	2
		380	岡山県立岡山聾学校	岡山県立岡山聾学校	難聴の子どものための通級指導教室	-	1
		381	広島県立尾道特別支援学校	広島県立尾道特別支援学校	教育相談の御案内	-	リーフレット
		382	広島県立尾道特別支援学校	広島県立尾道特別支援学校	センター的機能の御案内	-	リーフレット
		383	広島県立尾道特別支援学校	広島県立尾道特別支援学校	令和4年度聴覚障害者部御案内	2022年	2
		384	広島県立呉南特別支援学校	広島県立呉南特別支援学校	広島県立呉南特別支援学校 『きこえ』と『ことば』に関する教育相談の御案内	-	2
		385	広島県立呉南特別支援学校	広島県立呉南特別支援学校	図で聞こえをイメージすると	-	1
		386	広島県立広島南特別支援学校	広島県立広島南特別支援学校	令和4年度幼稚部のしおり	2022年	7
		387	広島県立広島南特別支援学校	広島県立広島南特別支援学校	広島県立広島南特別支援学校 聴覚障害教育相談支援センター 教育相談のご案内	-	2

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	ろう学校	388	広島県立尾道特別支援学校	広島県立尾道特別支援学校	【令和4年度】教育相談パンフレット（幼保向け）	2022年	リーフレット
		389	広島県立尾道特別支援学校	広島県立尾道特別支援学校	【令和4年度】乳幼児教育相談ポスター	2022年	2
		390	広島県立尾道特別支援学校	広島県立尾道特別支援学校	R4聴覚障害部門の案内	2022年	2
		391	広島県立尾道特別支援学校	広島県立尾道特別支援学校	教育相談の御案内	-	リーフレット
		392	山口県立山口南総合支援学校	山口県立山口南総合支援学校	きこえことばの乳幼児教育相談	-	1
		393	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	聴覚障がい児の理解にむけて	-	13
		394	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	補聴器の管理	-	1
		395	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	補聴器の乾燥機の使い方	-	1
		396	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	イヤーマールド（耳型）の掃除の方法	-	1
		397	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	補聴器装用時の反応	-	1
		398	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	（耳の構造に関する資料）	-	1
		399	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	伝音難聴 感音難聴	-	1
		400	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	オーディオグラム	-	6
		401	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	（補聴器・人工内耳医に関する資料）	-	1
		402	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	話すときの配慮	-	1
		403	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	日常生活で困ること 災害時に困ること	-	1
		404	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	通級指導教室	-	2
		405	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	きこえことばの巡回相談	-	1
		406	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	（耳の構造に関する資料）	-	1
		407	徳島県立徳島聴覚支援学校	徳島県立徳島聴覚支援学校	教育相談のご案内	-	1
		408	香川県立聾学校	香川県立聾学校	夢に向かってチャレンジ！	-	6
		409	香川県立聾学校	香川県立聾学校	「ひよこぐみ」（乳幼児教育相談）のご案内	-	2
		410	愛媛県立松山聾学校	愛媛県立松山聾学校	教育相談のご案内	-	2
		411	愛媛県立松山聾学校幼稚部	愛媛県立松山聾学校	令和〇年度 幼稚部行事のご案内	-	1
		412	高知県立高知ろう学校	高知県立高知ろう学校	パンフレット/高知ろう学校	-	1
413	九州聾教育ネットワーク	九州聾教育ネットワーク	聞こえる子も聞こえない子も 手で話そう 赤ちゃん手話	2021年	20		
414	福岡県久留米聴覚特別支援学校	福岡県久留米聴覚特別支援学校	ようこそ聞こえない赤ちゃん	2021年	136		
415	佐賀県立ろう学校	佐賀県立ろう学校	お子様さまの きこえやことばを 育てるために 相談してみませんか。	-	2		

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	ろう学校	416	佐賀県立ろう学校	佐賀県立ろう学校	つばみだより 10月号	-	1
		417	長崎県立ろう学校 佐世保分教室	長崎県立ろう学校 佐世保分教室	きこえやこやこばの発達に気になるお子さんの関係機関・保護者の皆様へ 乳幼児教育相談	-	リーフレット
		418	熊本県立熊本豊学校	熊本県立熊本豊学校	赤ちやんからのきこえと音ちの相談	-	2
		419	熊本県立熊本豊学校	熊本県立熊本豊学校	赤ちやんからのきこえやこやこば子育ての相談室 うさぎルーム	-	6
		420	大分県立豊学校	大分県立豊学校	きこえとこばの支援センター みみサポおおいた	-	リーフレット
		421	大分県立豊学校	大分県立豊学校	きこえとこばの ～0歳児からの教育相談～	-	2
		422	宮崎県延岡しろやま支援学校	宮崎県延岡しろやま支援学校	乳幼児のきこえとこばの相談 ようこそ！乳幼児教育相談 ひよこぐみへ	-	1
		423	宮崎県延岡しろやま支援学校	宮崎県延岡しろやま支援学校	0歳からのきこえ・こばの教育相談	-	1
		424	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校	都城さくら聴覚支援学校 教育相談の御案内	-	1
		425	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校	乳幼児のきこえとこばの相談 県央地区のようこそ！乳幼児教育相談 ひよびよ	-	1
		426	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校	乳幼児のきこえとこばの相談 ようこそ！乳幼児教育相談 ひよこぐみへ	-	1
		427	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	きこえのガイド	2021年	32
		428	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	〈やってみましょう：生活編〉	-	1
		429	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	〈やってみましょう：うたあそび編〉	-	1
		430	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	〈やってみましょう：音への気付き編〉	-	1
		431	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	身振りサイン一覧表	-	3
		432	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	0歳からの鹿児島豊学校聴覚相談センター乳幼児教育相談	-	リーフレット
		433	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	楽しい水あそび	-	1
		434	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	令和4年度 県立鹿児島豊学校 乳幼児教育相談 出張相談の御案内	2022年	1
		435	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	一側性難聴のおともだち、みんなで遊ぼう 令和4年 一側性難聴のつどいの御案内	2022年	1
		436	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	びよびよ No.2	2022年	1
437	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	びよびよ No.3	2022年	2		
438	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	びよびよ No.4	2022年	2		
439	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	R4 あか乳幼児教育相談 ミニ学習会・保護者支援計画	2022年	1		
440	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	R4 あお乳幼児教育相談 ミニ学習会・保護者支援計画	2022年	1		
441	鹿児島県立鹿児島豊学校	鹿児島県立鹿児島豊学校	R4 きいろ乳幼児教育相談 ミニ学習会・保護者支援計画	2022年	1		

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	その他	442	委員(北様)	SODAの会	「聞こえざるきょうだい」からのメッセージ～聞こえない・聞こえにくいお子さんの親・祖父母・周囲の大人の皆さまへ～	-	3
		443	委員(北様)	きこいろ(片耳難聴の情報・コミュニティサイト)	きこいろのパンフレット	-	リーフレット
		444	委員(北様)	日本乳幼児精神保健学会	乳幼児の権利についてのWAIMHの立場表明書	2016年	2
		445	委員(北様)	埼玉県立小児医療センター	難聴のお子さんをおもちの保護者のみなさまへ～基礎編～(PDF:947KB)	-	14
		446	委員(北様)	埼玉県立小児医療センター	難聴のお子さんをおもちの保護者のみなさまへ～子育て編～(PDF:716KB)	-	11
		447	委員(武居様)	呉竹七恵先生	通級指導教室における一側性難聴児への支援	-	15
		448	委員(武居様)	難聴児支援教材研究会	「難聴児はどんなことで困るのか?」	2022年	71
		449	委員(武居様)	上越市立大町小学校難聴通級指導教室	保護者向け難聴理解研修	-	6
		450	委員(武居様)	上越市立大町小学校難聴通級指導教室	一側性難聴	-	2
		451	委員(福島様)	アメリカ疾病予防管理センター	A Parent's Guide to Hearing Loss (Webサイト)	2022年	
		452	委員(福島様)	Journal of Clinical Medicine	保護者への支援に関する論文	2022年	16
		453	委員(福島様)	Medical Online	『JOHNS』Vol.26 No.9	2010年	1
		454	委員(福島様)	National Health Service	Newborn hearing screening (Webサイト)	2021年	
		455	委員(福島様)	テクノエイド協会	聴覚障害児の日本語言語発達のために～ALADJINのすすめ～	2012年	267
		456	委員(守本様)	ライオンズクラブ国際協会	赤ちゃんのきこえ～新生児聴覚スクリーニングのススメ～	-	6
		457	委員(守本様)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	ハンドブック(国立研究開発法人 日本医療研究開発機構・九州大学)	-	64
		458	委員(守本様)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	保護者CBT Vol.1 トラウマとは?自分の”気持ち”に気付いてみましょう。	-	26
		459	委員(守本様)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	保護者CBT Vol.2 子どもの発達 各時期の発達課題と思春期にむけて	-	16
		460	委員(守本様)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	保護者CBT Vol.4 リラクゼーション 疲れた頭をリフレッシュ! ～マインドフルネスを取り入れよう～	-	24
		461	委員(守本様)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	保護者CBT Vol.5 これからのわが子に	-	14
		462	委員(守本様)	国立成育医療研究センター	ペアレント・トレーニング お子さんの行動への対応のしかた Vol.2	-	6
		463	委員(守本様)	国立成育医療研究センター	ペアレント・トレーニング お子さんの行動への対応のしかた Vol.3	-	8
		464	委員(守本様)	国立成育医療研究センター	～子育て中のあなたへ～	2020年	16

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	その他	465	委員（守本様）	国立成育医療研究センター こころの診療部 リエゾン 診療科	入院中の思春期の子どもに対して親としてできること	2019年	リーフレ ット
		466	委員（守本様）	国立成育医療研究センター こころの診療部 リエゾン 診療科	入院中の子どもの心のケア～保護者の皆様へ～	2021年	リーフレ ット
		467	委員（守本様）	国立特別支援教育総合研究 所	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パ ッケージ	-	-
		468	委員（守本様）	国立特別支援教育総合研究 所	聴覚障害教育 Q&A50～聴覚に障害のある子どもの指導・支援～	-	57
		469	委員（守本様）	東京医療センター（加我先 生）	東京医療センターの加我先生の研究班が作成した資料	2012年	4
		470	委員（山根様）	一般財団法人全日本ろうあ 連盟	ろうあ連盟青年部役員ヒアリング結果	2022年	4
		471	委員（山根様）	一般財団法人全日本ろうあ 連盟	全日本ろうあ連盟季刊 Mimi No.176	2022年	68
		472	委員（山根様）	公益社団法人鳥取県聴覚障 害者協会	サポートセンター「きき」のリフレット	-	リーフレ ット
		473	日本乳幼児精神保健学会	WAIMH	WAIMH Position Paper Rights of Infants	2016年	3
		474	明晴学園	明晴学園	言語発達思考力	-	8
		475	明晴学園	明晴学園	聞こえない・聞こえにくい赤ちゃんの育て方	-	16
		476	明晴学園	明晴学園	明晴ブレスクールめだか	-	リーフレ ット
		477	明晴学園	明晴学園	日本語の文法 用語の解説と働き①	2021年	1
		478	明晴学園	明晴学園	めだかの実践報告～生後5ヵ月からYES/NO疑問分、10ヵ月で幼児語が みられる～	-	8
		479	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	親の会通信 No.148	2020年	14
		480	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	親の会通信 No.149	2020年	10
		481	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	親の会通信 No.150	2020年	10
		482	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	親の会通信 No.151	2021年	14
		483	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	親の会通信 No.152	2021年	10
		484	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	埼玉県難聴児（者）を持つ 親の会	親の会通信 No.153	2021年	14
		485	さっぽろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さっぽろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	子どもの軽度難聴・片耳難聴を見逃さないために	-	9

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	その他	486	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	聞こえているように見えても聞こえない、難聴のある子どもたち	2020年	8
		487	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	みんな「聞こえのチェック」を広めよう。	2018年	2
		488	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	自分の難聴について説明する	2020年	20
		489	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	難聴のある人と話してみる	2020年	4
		490	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	お子さんの聞こえのチェックをしてみませんか？	-	4
		491	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	お子さんの聞こえのチェックをしてみませんか？(カラーチラシ)	-	2
		492	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	図書や啓発資料のご紹介	-	2
		493	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	3.1. 03 活動報告書の原稿3 (PDF9)	2019年	8
		494	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	A. 聞こえネット「活動の概要」A 4	2019年	4
		495	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	B. 保護者向けチラシ(4ページ)	-	2
		496	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	C. 保護者向けポスター	-	2
		497	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	D. 専門職向けちらし_うら	2018年	1
		498	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	D. 専門職向けちらし_おもて	2018年	1
		499	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	E. 難聴啓発パンフレット(8ページ)	2013年	4
		500	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	F. 難聴について周りの人に説明する資料1	2020年	4
		501	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	G. 難聴について周りの人に説明する資料2	2020年	20
		502	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	H. 聞こえネット「活動報告」2017年	2018年	4
		503	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	H. 聞こえネット「活動報告」2018年	2019年	8
		504	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	H. 聞こえネット「活動報告」2019年	2020年	8
		505	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	こどものきこえ小百科ー小児難聴の発見と支援ー	-	96
		506	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	さつぼろ子どもの聞こえ相 談ネットワークを作る会	2020年12月09日札幌医師会雑誌きこえのネットワーク	2020年	2

調査種別	提供者種別	No	提供者・推薦者	発行機関・団体・施設名	資料名	発行年	総ページ数
直接調査	その他	507	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会	「リファアーとなったお子さんのお母さんと家族の方へ」	-	-
		508	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会	きこえとことば研修テキスト 第2版	-	184
		509	全国早期支援研究協議会	全国早期支援研究協議会	『きこえない』でも、大丈夫！	2022年	80
		510	全国早期支援研究協議会	全国早期支援研究協議会	「新版・きこえにくいお子さんのために」	2022年	130
		511	全国早期支援研究協議会	全国早期支援研究協議会	「どうすればこぼが育つか？」	2020年	108
		512	全国早期支援研究協議会	全国早期支援研究協議会	「おやこの手話じてん」	2021年	205
		513	全国早期支援研究協議会	全国早期支援研究協議会	「パパとママのしよにハッピーサイン」	2020年	124
		514	バイリンガル・バイカルチユラルろう教育センター	バイリンガル・バイカルチユラルろう教育センター	聞こえなくても大丈夫！～コミュニケーション編～	2016年	14
		515	バイリンガル・バイカルチユラルろう教育センター	バイリンガル・バイカルチユラルろう教育センター	日本手話CL絵本 ボール	-	22
		516	バイリンガル・バイカルチユラルろう教育センター	バイリンガル・バイカルチユラルろう教育センター	研究からわかること目で見える言葉と目で見える学習	2017年	18
		517	難聴児を持つ親の会	難聴児を持つ親の会	聴覚障害児の理解のために 第23集 -障害認識をめぐってお母さんとの対話-	1996年	79
		518	難聴児を持つ親の会	難聴児を持つ親の会	聴覚障害児の理解のために 第25集 -就労の現状と課題-	1998年	60
		519	難聴児を持つ親の会	難聴児を持つ親の会	聴覚障害児の理解のために 第26集 -幼稚園・小・中学校の先生の質問に答えて-	1998年	83
		520	難聴児を持つ親の会	難聴児を持つ親の会	べる No.184	2022年	23
		521	難聴児を持つ親の会	難聴児を持つ親の会	べる No.181	2021年	18
		522	難聴児を持つ親の会	難聴児を持つ親の会	べる No.182	2021年	21
		523	難聴児を持つ親の会	難聴児を持つ親の会	助成状況	2021年	14
		524	ろう児を持つ親の会	ろう児を持つ親の会	BC州のろう難聴児の早期支援について	-	2
		525	ろう児を持つ親の会	ろう児を持つ親の会	耳の聞こえない子どもへの幼少時支援（手話編）	-	3

自治体資料									
発行団体	岐阜県	秋田県	山梨県	大阪府	大阪府	北九州市	北九州市	京都市	
資料名	お子さんのきこえのために	聞こえのハンドブック 難聴児保護者のための教育講座(副読本)	新生児聴覚検査の手引	大阪府 大阪府新生児聴覚検査の手引き	大阪府 大阪府新生児聴覚検査の手引き	⑨療育の流れについてなど	⑩楽しく音に気づかせよう(聴覚学習)	子どものかかわりを考えるにあたって	
章	0.はじめに								
	1.はじめに								
	1.新生児スクリーニングの結果の見方								
	2.聴覚障害に関連する基本的な知識								
	3.子どもとのコミュニケーションの取り方に関する助言								
	1.非認知機能(こころの発達)に関する基本的な知識								
	2.言語発達に関する基本的な知識(特にコミュニケーション言語獲得に向けて)								
	3.進学先の選択のための検討観点								
	4.聴覚障害のある子どもへの育成等の事例								
	3.幼児期								
	各自治体における支援機関・支援制度								

発行団体		ろう学校						
資料名	徳島県立徳島聴覚支援学校 聴覚障がい児の理解にむけて(教員向け資料)	八戸豊学校 片方のお耳が聞こえにくい	岐阜県ろう学校 保護者学級などに使用した資料	奈良県立ろう学校 ことばの土台をはぐくむ	鹿児島豊学校 きこえのガイド	川崎市立豊学校聴覚支援センター きこえない・きこえにくいの子を支援する先生のためのサポートブック	静岡聴覚特別支援学校 子ども園・幼稚園 保育の先生へ～難聴児の理解のために～	静岡聴覚特別支援学校 「スキルちゃん」
0.はじめに	1.はじめに	-	-	-	-	-	-	-
1.新生児期	1.新生児スクリーニングの結果の見方	-	-	-	聴力検査の種類 ・聴覚検査の進め方 ・オーディオグラムの見方 ・スピーチトレーニングの意味	-	-	-
	2.聴覚障害に関連する基本的な知識	-	-	-	-	Q1きこえのしくみって？ Q2難聴ってどんなこと？ Q3聴力ってなあに？	-	-
	3.子どもとのコミュニケーションの取り方に関する助言	-	-	-	生活関連機器	-	・難聴理解に向けて ・子どもの発達段階 幼児期と乳児期の特徴	「スキルちゃん」
2.乳児～幼児初期	1.非認知機能(こころの発達)に関する基本的な知識	-	-	-	-	(ヘルプアドボカシー)についての解説)	-	-
	2.言語発達に関する基本的な知識(特にコミュニケーション言語獲得に向けて)	-	-	-	・補聴器の仕組みと種類 ・補聴器の選択 ・補聴器の調整と周波数特性の見方 ・補聴器の点検・人工内耳 ・補聴器・人工内耳の管理(夏場、冬場) ・集団補聴システム	Q7補聴支援システムって？	-	-
	3.進学先の選択のための検討観点	4.配慮と支援 5.学校内の設備	就学決定までの流れ	-	・学習(保育)場面における配慮事項 ・教室の騒音軽減	Q8学校で困らないためには？ Q10きこえにくい子の心は？ Q11きこえにくい子の心を支えるためには？ Q12情報保障ってなあに？ Q14保護者の不安や疑問はどんなこと？	-	-
3.幼児期	4.聴覚障害のある子どもの育成等の事例	-	-	-	-	-	-	-
	1.言語発達の基本的な知識(特に学習言語の獲得に向けて)	-	-	-	-	-	-	「スキルちゃん」
各自治体における支援機関・支援制度		-	-	-	-	・聴覚障害者の福祉制度	Q13知って得する制度と機関とは？	-

発行団体		ろう学校			
	神奈川県立平塚ろう学校 きこえとことばの相談支援センター	福岡県立久留米聴覚特別支援学校	奈良県立ろう学校	千葉県立千葉豊学校	
	ろう・難聴児サポートハンドブック	ようこそ聞こえない赤ちゃん	きこえに関わる福祉・教育制度	きこえにくい子のためのサポートブック、きこえのQ&A	
章	節				
0.はじめに	1.はじめに	-	-	-	Q13 ことばが出る前の支援は、どうしたらよいでしょうか？(幼児期)
	1.新生児スクリーニングの結果の見方	-	-	-	
	2.聴覚障害に関連する基本的な知識	1- (1) きこえのしくみ 1- (2) 難聴の種類 1- (3) 難聴の程度 1- (5) きこえのシミュレーション 1- (6) 環境音と聴力レベル 1- (7) 音声成分と楽器音	-	-	Q1 きこえにくい子ども達は、どのようにきこえているでしょうか？ Q2 聴覚障害の原因は、何でしょうか？ Q3 聴覚障害の種類やきこえの程度はどの子も同じなのでしょうか？ Q4 聴覚に障害があるかどうかは、どのような視点でみたらよいでしょうか？
1.新生児期	3.子どもとのコミュニケーションに関する助言	-	-	-	Q12 きこえにくい子への話しかけ方は、どのようにすればよいでしょうか？ Q13 ことばが出る前の支援は、どうしたらよいでしょうか？(幼児期) Q16 コミュニケーションをスムーズにとるためには、どうすればよいでしょうか？
	1.非認知機能(こころの発達)に関する基本的な知識	-	-	-	Q15 心の育ちについて、どのようなことに配慮すればよいでしょうか？
2.乳児～幼児初期	2.言語発達に関する基本的な知識(特にコミュニケーション言語獲得に向けて)	-	-	-	Q5 補聴器をつければ、なんでも聞こえるのでしょうか？ Q6 補聴器の基本的な扱い方で、知っておいた方がよいことは何でしょうか？ Q7 人工内耳の基本的なこと、知っておいた方がよいことは何でしょうか？ Q8 FM補聴システムとは、何でしょうか？ Q9 片耳がきこえにくい場合、きこえ方はどのような状態でしょうか？ 支援はどうしたらよいでしょうか？ Q10 発音ときこえは、関係するのでしょうか？ Q13 ことばが出る前の支援は、どうしたらよいでしょうか？(幼児期) Q17 軽度難聴や人工内耳の場合、かなり聞こえているように感じます。支援は必要でしょうか？
	3.進学先の選択のための検討観点	-	-	-	Q11 きこえが気になる子がいた場合、どうすればよいでしょうか？
3.幼児期	4.聴覚障害のある子どもへの育成等の事例	-	-	-	
	1.言語発達の基本的な知識(特に学習言語の獲得に向けて)	-	-	-	Q14 ことばの育ちについて、どのようなことに配慮すればよいでしょうか？(学齢期)
各自治体における支援機関・支援制度		-	-	-	

発行団体	その他			
	児童発達支援センター	難聴児支援教材研究会	全国早期支援研究会協議会	全国早期支援研究協議会
かなりや学園	難聴児はどんなことで困るのか？	どうすればこどもが育つか？	軽度・中等度難聴サポートブック新版・きこえにくいお子さんのために	埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科 難聴ペーパー外来
就学に向けて(2019 4 歳児向け)				難聴のお子さんをおもちの保護者のみなさまへ～子育て編～
資料名				きこいろのパンフレット

章	節	発行団体	児童発達支援センター	難聴児支援教材研究会	全国早期支援研究会協議会	全国早期支援研究協議会	その他
0.はじめに	1.はじめに	-	-	-	-	-	-
	1.新生児スクリーニングの結果の見方	-	-	-	-	-	-
1.新生児期	2.聴覚障害に関連する基本的な知識	-	第1章 難聴の基礎知識 1-1 難聴とはどんな障害か	-	第2章 きこえにくい赤ちゃんが大人になるまでのサポート	-	一側性難聴について
	3.子どもとのコミュニケーションの取り方に関する助言	-	第2章 難聴児・者&親の-- 2-1 きこえないこと、こんなに--	-	-	1)子育てについて 3)遊んだり、お世話をしたりするときのポイント 4)家族みんなでお子さんに関わりますよ	-
2.乳児～幼児初期	1.非認知機能(こころの発達)に関する基本的な知識	-	第3章 難聴児のこころを育てる -- 3-1 子どもが障害に気づくとき 3-5 きこえない世界で心は育つ 3-6 社会(企業)で求められる力とは？	-	第3章 きこえにくさについて理解を深めよう 3-2 軽度・中等度難聴児と親の心理・障害認識	-	-
	2.言語発達に関する基本的な知識(特にコミュニケーション言語獲得に向けて)	-	第4章 難聴児のこころを育てる-- 4-2 書きこばを支える幼児期の言語活動 4-3 子どもはどのように文字を身に付けるか？ 4-4 難聴児はどこでつまづくのか？ 4-5 語彙力・文法力をチェックする 4-6 就学までに身に付けたいこととは？ 4-7 抽象的思考を育てる～幼児期からのとりくみ～	5-1 乳幼児のこばの発達 5-2 幼児期前半のこばの発達	-	2)補聴器をつけて遊びましょう！ P8:こばをはぐくむ	-
3.幼児期	3.進学先の選択のための検討観点	就学に向けて(2019 4 歳児向け)	-	-	-	-	5) 難聴療育について
	4.聴覚障害のある子どもの育成等の事例	かなりや学園	-	-	-	-	-
各自治体における支援機関・支援制度	1.言語発達の基本的な知識(特に学習言語の獲得に向けて)	就学に向けて(2019 4 歳児向け)	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-

令和4年度障害者総合福祉推進事業

難聴児の家族等や支援に携わる関係者が必要とする基本的な情報の
整理・一覧化に関する調査研究

発行日：令和5年3月

編集・発行：PwC コンサルティング合同会社

